

年報

— 平成 11 年度 —

2000

大磯町郷土資料館

目 次

[事業報告]

庶 務 2

- ・組織および職員
- ・運営委員会
- ・予 算
- ・維持管理
- ・入館者

学 芸 4

- ・企画展
- ・学級・講座
- ・刊行物
- ・調査・研究・普及
- ・博物館実習
- ・博物館資料の収集と利用

文 化 財 24

- ・文化財専門委員
- ・文化財保護
- ・指定文化財一覧表
- ・埋蔵文化財

町史編さん 27

- ・町史編さん組織体制
- ・町史編さん委員会
- ・町史編集委員会
- ・部 会
- ・平成 11 年度刊行物とその概要
- ・町史刊行済書籍一覧

[研究報告]

「草と木の調査」実施報告

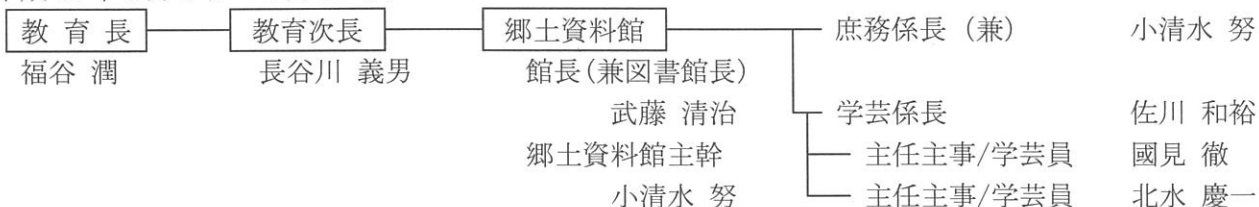
北水 慶一 30

事業報告

庶務

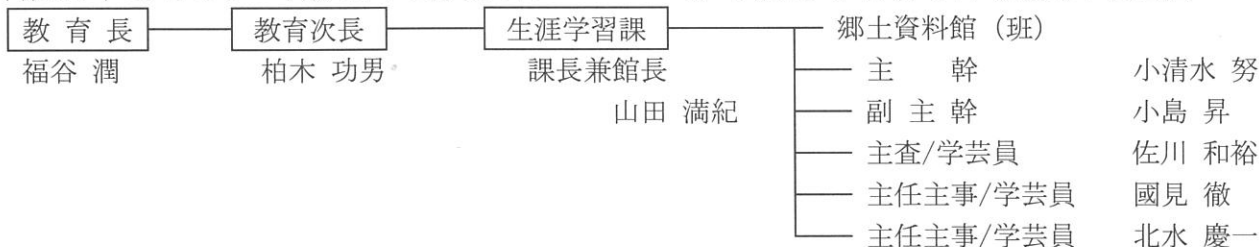
■組織および職員

<平成11年4月1日～9月30日>



<平成11年10月1日～平成12年3月31日>

※平成11年10月1日 機構改革を実施



■運営委員会

<委員の構成>

- | | | |
|--------|----------|-------------------------|
| ・石田 和夫 | 学識経験者 | 任期：平成11年1月8日～平成13年1月7日 |
| ・廣瀬 利郎 | 社会教育委員 | 任期：平成11年1月8日～平成13年1月7日 |
| ・稲葉 和也 | 文化財専門委員 | 任期：平成11年1月8日～平成13年1月7日 |
| ・石井 四郎 | 区長会連絡協議会 | 任期：平成11年1月8日～平成11年7月31日 |
| ・福井 靖史 | 学校長 | 任期：平成11年1月8日～平成11年7月31日 |
| ・蒲生 晃 | 学校長 | 任期：平成11年8月1日～平成13年1月7日 |

<委員会の開催>

- ・平成11年8月31日 平成10年度事業報告、平成11年度事業計画並びに進捗状況
- ・平成12年3月1日 平成10年度年報、平成11年度進捗状況、平成12年度事業概要

■予 算

<郷土資料館費当初予算の推移>

単位：円

| 年 度 | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 平成10年度 | 平成11年度 |
|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 金 額 | 77,930,000 | 63,697,000 | 62,040,000 | 57,439,000 | 57,666,000 |

郷土資料館費には、運営委員会運営事業、運営事務事業、維持管理事業、学芸活動事業、企画展事業、教育普及活動事業があげられる。

<郷土資料館業務別予算の内訳>

平成11年10月1日、機構改革により文化財調査保存にかかわる業務、町史編さん業務が郷土資料館業務に組み込まれた。また、9月に埋蔵文化財出土品整理委託について緊急地域雇用特別対策事業の交付を受けた。したがって、郷土資料館全体の予算としては次のとおりとなった。

単位：円

| | | | | | |
|----|------------|-----------|------------|-----------|------------|
| | 郷土資料館費 | 文化財保護費 | 町史編さん費 | 緊急雇用対策事業費 | 合計 |
| 金額 | 57,666,000 | 5,067,000 | 20,114,000 | 3,284,000 | 86,131,000 |

<平成11年度決算>

単位：円

| | | | | | | |
|----|-----------|-----------|------------|-----------|------------|--------|
| 事業 | 運営委員会運営 | 運営事務 | 維持管理 | 学芸活動 | 企画展 | 教育普及活動 |
| 金額 | 21,900 | 3,553,958 | 15,575,149 | 2,223,825 | 927,997 | 42,700 |
| 事業 | 文化財専門委員運営 | 文化財調査保存 | 町史編さん | 緊急地域雇用対策 | 合計 | |
| 金額 | 75,200 | 4,768,652 | 13,583,580 | 3,283,784 | 44,056,745 | |

□職員給与（4人分）（39,418,555円）

■歳出合計（83,475,300円）

■維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)フジワールド
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・警備委託／(株)全日警横浜支社
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業(株)
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ
- ・燻蒸業務委託／特許理化興業(株)
- ・自家用電気工作物保守点検委託／小島電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／相日防災(株)小田原支店
- ・空調設備・給水設備保守委託／高砂熱学工業(株)横浜支店
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株)横浜営業所
- ・鳥類本剥製クリーニング委託／(有)ニヶ崎科学標本社
- ・埋蔵文化財出土品整理委託／出土品整理委員会

<施設の修繕>

- ・縁石修繕工事・コンクリート洗い出し補修工事／(有)岩田土木管工
- ・レーザーディスク修理・照明灯器具の修理／湘南家電
- ・給水ポンプ修繕・トイレットフラッシュバルブ交換／高砂熱学工業(株)横浜支店
- ・中央監視装置修理／山武ビルシステム(株)横浜支店

■入館者

<入館者の推移>

単位：人／日

| | | | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|
| | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 平成10年度 | 平成11年度 | 累計(昭和63年～) |
| 入館者数 | 35,014 | 31,218 | 28,857 | 28,415 | 28,252 | 413,355 |
| 1日平均／開館日数 | 121／290 | 111／281 | 103／278 | 100／282 | 101／279 | 126／3,268 |

<月別入館者数>

単位：人

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 入館者数 | 2,181 | 3,484 | 2,248 | 1,856 | 2,129 | 1,982 | 2,474 | 4,698 | 1,238 | 1,408 | 2,390 | 2,164 | 28,252 |
| 1日平均 | 90 | 145 | 97 | 84 | 85 | 86 | 98 | 204 | 58 | 67 | 103 | 86 | 101 |

<見学・視察（館職員対応分のみ）>

単位：団体

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 件数 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 12 |

<研修室の利用>

単位：団体

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 件数 | 3 | 16 | 16 | 13 | 7 | 7 | 12 | 13 | 8 | 10 | 8 | 8 | 121 |

学 芸

■企画展

ミニ展示「ちょっとなつかしいもの」

期 間 平成 11 年 4 月 25 日（日）～6 月 20 日（日）

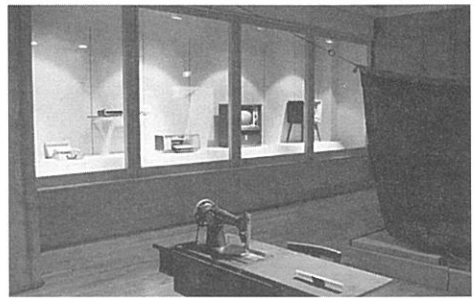
開場日数 45 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 100 点

料 金 無料

入場者数 5,785 人



〔趣旨〕過去を振り返りつつ現在を見つめ、そして未来を考えていこうとする場が博物館であると考えたとき、現在身の回りにある生活用具の数々は、過去と未来を繋ぐための大きな役割を持つものとなる。当館では開館当初から現代資料も必要とあればできるだけ収集する方針をとってきた。限りある収蔵施設ではあるが、体系的な展示をすることも可能な程度に収集されつつある。また、年少の子どもたち、殊に小学校低学年においては、昭和・大正・明治・江戸といった時代区分は難解であり、自分の両親や祖父母の時代をひとつの目安として理解している。それゆえに、小学校低学年の祖父母の世代（大正～昭和初期生まれ）、および両親の世代（昭和 30～40 年代生まれ）を象徴する生活用具の収集は不可欠でもある。

今回の展示は、各世代の観覧者がお持ちのノスタルジアをくすぐる場を目指した。近年、あまりにも早い世の中のサイクルに不安を感じる人も少なくない。そこで、しばし立ち止まり、各観覧者が等身大の過去を気楽に振り返ることの必要を主張したつもりである。また、本展示は、本年度の最後に開催予定の「学習参考資料展」を意識し、その準備的な意味合いも含んだ。観覧者の反応を知るためにアンケート用紙を置き、最終的に 85 件のアンケートが回収された。アンケートにはさまざまな意見や感想が書き綴られており、小さな試みではあったが大きな手応えを感じ取ることのできた展示となった。

〔内容〕戦災の傷跡が癒えない昭和 20 年代から高度成長期の一段落した昭和 50 年代までの暮らしの中の道具を展示した。展示は道具や技術の変遷を体系的に追うというのではなく、時代を象徴するようなものをアットランダムに選択した。展示室中央の展示台には蚊帳を吊り、蚊帳への入り方の解説パネルを付したうえで、実際に蚊帳へ入ることを体験できるように設定した。なお、家電製品も所蔵に限りはあるものの積極的に展示を試みた。このうち、昭和 30 年代前半において技術革新によって一般家庭にもたらされた電気冷蔵庫・洗濯機・テレビのいわゆる「三種の神器」は、展示構成上どうしても不可欠な資料であった。しかし、当館では電気冷蔵庫や洗濯機を収蔵していないため、同資料の寄贈を呼びかけることにした。その後、電気冷蔵庫の寄贈については町内外から数件の申し込みがあった。いずれも受け入れて、後述する「学習参考資料展」への活用が可能となった。

（担当）佐川 和裕

企画展「相模湾の貝類Ⅱ 一大磯周辺海域の二枚貝」

期 間 平成 11 年 7 月 21 日（水）～9 月 5 日（日）

会場日数 39 日間

会 場 企画展示室

出品点数 約 1,000 点

料 金 無料

入場者数 3,235 人



〔趣旨〕平成 10 年度企画展に引き続き、相模湾の貝類をテーマとした企画展示を行った。昨年度と同様に近海に生息する貝類を紹介することは、日頃あまり注目しない海産貝類に目を向けることにつながると考え、

進めたもので今回は特に二枚貝の種類や生態を紹介するとともに海産生物が生息する環境を紹介することに主眼を置いた。

[内容] 展示のテーマとしては、i) 大磯周辺海域の二枚貝、ii) 打ち上げられた生き物、iii) 大磯近海の潮流、iv) 大磯近海海底地形図、v) 化石でみる二枚貝のいろいろとした。メインとなる「大磯周辺海域の二枚貝」では、昨年度と同様に町史編さん事業で収集した資料を活用し、大磯町史で紹介されている二枚貝のほとんどすべてを展示した。「打ち上げられた生き物」では、北浜に打ち上がった二枚貝、巻貝、流木、コウイカの甲のほか、近年、町内の海岸に打ち上がったアカボウクジラ、アカウミガメの記録写真も展示した。大磯近海の潮流では、(財)日本水路協会海洋情報室より「相模湾・伊豆諸島近海海況速報」を提供していただき、1年を通しての潮流の様子をうかがった。「化石でみる二枚貝のいろいろ」では、大磯層、二宮層の化石を取り上げ、大磯層では、イイツカビノスガイ、パンダフミガイ、オオツカツキガイなど、また二宮層では、タマキガイ、ナミジワシラスナガイ、アズマニシキガイなどを紹介した。

この度の展示は資料として、二枚貝の標本が中心であったが、二枚貝は平面的な資料であり、通常の平台に資料を置いて展示をするのでは、展示室全体での見栄えが出ず、立体感を出すような工夫を要した。ガラスケース内の資料については資料を置く台に傾斜を持たせ、正面から見ても貝殻の上部の模様が分かるようにした。またガラスケース内の展示台及び展示室中央の昇降台に水色の布をかぶせた台を置くなど展示室全体の色を水色に統一した。結果、貝類の展示としての演出効果は十分出せたのではないかと考えている。

(担当) 北水 慶一

ミニ展示「一館収蔵品による一大磯ゆかりの人々の逸品3」
期 間 平成11年10月17日(日)～11月3日(水・祝)
開場日数 14日間
会 場 企画展示室
出品点数 12点
料 金 無料
入場者数 1,626人



[趣旨] 当初予定されていた秋季企画展(巡回展)の日程が変更されたことから、企画展示室の有効利用を念頭に急遽企画したミニ展示である。時期的には、町内のみならず町外からの入館者も多い季節であるため、大磯らしさの漂う内容とした。「大磯ゆかりの人々の逸品」については内容を変えながら既に過去2回開催している。いずれも当館収蔵資料のみで構成した「収蔵資料展」である。大磯にかかわりある人物を紹介し、その人物にまつわる「もの」を展示しているが、その根底には多くの人々を魅了し続けている「大磯の風土や地域性」の解明という大きな命題がある。

[内容] 松本順<書幅・茶碗>、山県有朋<歓迎の幟>、鍋島直大<棟札>、三井八郎右衛門高棟<画幅・酒盃>、吉田茂<書幅・花瓶・灰皿>の5名のゆかりの品々を取り上げた。いずれも大磯に別荘を所有し、深いかかわりをもっていた人物である。なかでも、山県有朋の「歓迎の幟」は、当時の大磯町を象徴している資料といえる。山県は明治20年に当町東小磯(現・大磯中学校付近)の土地を購入して木造和風2階建の別邸「小淘庵」を建てており、同42年に三井高棟に売却するまで大磯へ頻りに訪れていた。この幟は、地元東小磯の個人宅に大切に保管されていたもので、山県の来磯にあたり、町をあげて歓迎していた当時の様子を伝えている。また、吉田茂の書幅「五賢堂」も特筆される。かつて、伊藤博文は滄浪閣の敷地内に明治の元勳(三条実美、岩倉具視、大久保利通、木戸孝允)を祀った四賢堂を建てた。伊藤は毎朝ここへ榊を供え、中の円座にすわって黙考することが多かったという。伊藤の没後は伊藤を合祀して五賢堂となり、昭和35年に吉田茂邸(現・プリンスホテル別館)に移された。この揮毫は五賢堂扁額のもとになった文字で、吉田の自筆。なお、現在はさらに西園寺公望と吉田の2名を加え、七賢堂として祀られている。

展示資料数は僅かであったが、地域を知るための博物館資料として価値の高いものといえる。

(担当) 佐川 和裕

巡回展「弥生の幕あけ」

期 間 平成 11 年 11 月 7 日（日）～11 月 28 日（日）

開場日数 18 日間

会 場 企画展示室

資料点数 約 200 点

料 金 無料

入場者数 4,181 人



〔趣旨〕弥生時代は稲作米食の開始、金属器の使用等による農耕社会を現出し、現在にいたる日本の生活要素の根幹が形成された時代といえる。文化の一大画期ともいえる弥生時代の神奈川県における黎明期を瞥見すべく神奈川県内各地の発掘調査等によって得られた資料のうち、縄文時代晩期から弥生時代中期中頃の遺物を中心に展示を構成した。県内での農耕社会の足取りを窺うことを目的とした。

〔内容〕(財)かながわ考古学財団と共催の巡回展として開催。本展示に先立ち、神奈川県立埋蔵文化財センターにおいてかながわの遺跡展「弥生の幕あけ」(会期：平成 11 年 10 月 4 日～10 月 31 日)が催され、引き続き当館での開催となった。縄文時代晩期から弥生時代中期中頃の土器、石器を中心に県内 23 遺跡約 200 点の資料を展示した。企画展最終日には、記念講演「土器からみた弥生のあけぼの」を開催した。

〔関連行事〕

記念公演「土器からみた弥生のあけぼの」

開 催 日 平成 11 年 11 月 28 日（日）

会 場 研修室

講 師 大島 慎一氏（小田原市教育委員会）

参 加 者 49 人

（担当）國見 徹

学習参考資料展「かわってきたくらしの道具」

期 間 平成 12 年 1 月 16 日（日）～3 月 26 日（日）

開場日数 57 日間

会 場 企画展示室

資料点数 約 200 点

料 金 無料

入場者数 5,134 人



〔趣旨〕小学校 3 年生の社会科<かわってきた人々のくらし>の学習にあわせた展示を行った。平成 14 年度から始まる「総合学習の時間」を念頭におきながら社会科学習の支援を目的としたもので、生活用具を通して、地域文化や環境をも含めた暮らし全体を考える契機になることを期待した。また、年度当初に開催したミニ展示「ちょっとなつかしいもの」において、アンケートで寄せられた道具にかかわる体験や思い出などを、大磯町域における道具の時代考証や履歴の解明に生かすこともテーマのひとつとした。

〔内容〕小学校 3 年生にとって理解しやすいようにするため、3 年生の年齢からみた「おじいさん、おばあさんが子どもだった頃」「おとうさん、おかあさんが子どもだった頃」という時代区分を基調にして展示を構成した。それぞれの対象年代を 1930～1940 年（昭和 5～15 年）および 1960～1970（昭和 35 年～45 年）として年代の幅を比較的広くとった。しかし、企画展示室の面積的な制約から、「くらしの道具」のなかから更にテーマを絞らなければならず、思いきった資料の取捨選択をする必要があった。例えば、生業に関する道具については、生徒たちにとって直接なじみが薄いことや、理解を得るには生業全体や作業の流れを説明しなければならないため今回は除外し、<家の中で見られるごく身近な生活道具>という、かなり曖昧な切り口での展示となってしまった。また、道具ひとつひとつを細切れ的に見るのではなく、できるだけ生活全体

を感じてほしいとの思いから、一部に再現展示を取り入れた。ただし、限られたガラス展示ケースの中であるため、単に家の中で一般的に見られた道具（主に衣食住）を集成しただけの印象が強く残った。資料そのものも1軒の家からすべて収集されたものではないため、あくまでも年代、場所ともに恣意的な再現となってしまうことも否めない。もちろん資料個々の年代考証には注意したが、各家で購入・使用されていた期間はまちまちであり、例えば、大磯町内だけをみても旧大磯町域と旧国府町域では電気や水道の敷設時期に開きがあった。電灯の普及にも年代差がみとめられるなど、展示を構成する上で数々の課題が露呈した。

開催期間中に、大磯町内の小学校3年生すべてのクラスに社会科の見学授業を設定していただくことができ、学校教育との連携における試みとしては今後の指針となった。また、当日は展示全体や個々の資料の説明だけでなく、展示室を暗くして、灯明・行灯・燭台・提灯・石油ランプ・電灯をそれぞれ実際に点灯して明るさを体感してもらうなどの体験的な試みをおこなった。

なお、新聞各紙に紹介されたこともあり、町内ばかりでなく、広く神奈川県内の小学3年生の見学や問い合わせが相次いだ。展示室に設置したアンケートには、小学3年生のほか、親にあたる30～40歳代の方々の感想や意見が多かったが、当資料館においても最も関係の希薄な世代と思われる20代の男女からの感想や意見が回収されたのは意外であった。今回のような比較的新しい時代における生活資料の取り扱いが、これまで以上に求められていることを実感した。

| | 大磯町内 | | | 大磯町外 | | | 総計 |
|-------|------|----|----|------|----|----|----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 0～9 | 5 | 7 | 12 | 4 | 19 | 23 | 35 |
| 10～19 | 1 | 3 | 4 | 3 | 4 | 7 | 11 |
| 20～29 | — | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 5 |
| 30～39 | 2 | 2 | 4 | 2 | 10 | 12 | 16 |
| 40～49 | — | 1 | 1 | — | 5 | 5 | 6 |
| 50～59 | — | 1 | 1 | 1 | — | 1 | 2 |
| 60～69 | — | — | — | 2 | — | 2 | 2 |
| 70～79 | 1 | — | 1 | — | — | — | 1 |
| 80～89 | 1 | — | 1 | — | — | — | 1 |
| 総計 | 10 | 15 | 25 | 13 | 41 | 54 | 79 |

アンケート回収／103枚、うち無効（判読不能、記載欠如、落書き）24枚、有効79枚

町外／多摩市1、川崎市3、横浜市5、横須賀市1、相模原市3、綾瀬市1、藤沢市4、茅ヶ崎市6、

平塚市10、厚木市1、伊勢原市2、秦野市3、二宮町2、中井町1、小田原市1、不明10

（担当）佐川 和裕

■学級・講座

<民俗に親しむ会>

開催日 平成11年7月17日(土)、8月21日(土)、9月25日(土)、10月16日(土)、
11月24日(水)、12月18日(土)、平成12年1月22日(土)、2月19日(土)、
3月18日(土)

会場 研修室

参加者 延70人

[内容] これまでの館活動を真摯に振り返り、今後の館活動を見据えながら、単発的な内容ではなく1年を通して、あるいは継年的なテーマを据えた活動を試行した。これまで収集した資料の活用を目指す第一歩は、地域の方々が所有する情報や知識を提供していただくことによって資料を生き返らせ、さまざまな活用の可能性を広げることと定義し、民俗資料に興味を持ち、資料の整理と今後の利用について共に考え活動していただける方を募集することにした。年間会員制として「民俗に親しむ会」を発足し、まず、当館で比較的多く収集されている衣類の整理からおこなうこととした。なお、会として何から何まで足並みを揃える必要はなく、作業そのものを楽しさを見つけることを第一義に、参加者の興味や好奇心を大切にして、そこから何らかの方向性が見えてくれば良いのではないかと考えている。

(担当) 佐川 和裕

<草と木の調査>

開催日 平成11年8月22日(日)、9月26日(日)、10月24日(日)、11月28日(日)、
12月11日(土)、12月12日(日)

会場 研修室及び町内

参加者 延43人

[内容] 自然分野ではこれまで単発的な自然観察会を行ってきた。開館から10年が経過し、教育普及活動の在り方を考え、その場限りで終わらず一定の期間継続してでき、参加者にも十分理解いただけるような企画を進めるべく「草と木の調査」と題した植物調査を始めた。本年度は、初秋から晩秋に開花する植物、秋に特徴的な果実を結実する植物を対象に町内での分布状況を調査した。8月22日に調査方法についてガイダンスを行い、9月26日、10月24日、11月28日に調査。12月11日、12日で調査のまとめを行った。調査は1班3名に分かれて行き、1班4km/日歩くように当館で設定した。コースは主に国道1号線の住宅地から高麗山を含めた丘陵を目指して歩くようにした。調査コースを歩き、対象植物を確認した時点で調査表の当該地にポイントを落とし、調査のまとめで各種ごとに1枚の地図に分布の状況をまとめた。調査を通し、セイタカアワダチソウ、センダングサ類が大変多く見られた点、植物の種類によって微妙に分布が異なる点などの結果を得ることができた。

(担当) 北水 慶一

<竹のおもちゃづくり>

開催日 平成11年11月21日(日)

会場 研修室

講師 斎藤安之助氏、青少年指導員

参加者 155人

[内容] 青少年指導員連絡協議会と共催でおこなった。自然素材の特性を学びながら、自らの手で作る楽しさを見いだすことを目的とし、竹トンボ、ブンブン、ウグイス笛を作った。子どもはもちろん、大人に至ってもナイフの使い方が不慣れであることが予測されたため、あらかじめ材料にはかなり手を加えておき、容易に作れるようにしておいた。しかし、それでも講師が手直しせざるを得ない場合も多かった。ナイフの使用方法については適宜指導をおこなったためナイフによる怪我はなかったが、竹で指を切るなどの些細な怪

我はあったようである。苦い経験ではあろうが、竹の特性を知る機会になったと考えている。会期は「城山公園まつり」にあわせて開催し、当日自由参加としたが、天候にも恵まれて用意した材料が足りなくなるほどの盛況であった。子ども、大人ともに完成品で嬉々として遊んでいる様子が見られ、自作に対しての満足感が感じられた。地域の古老や先輩方の体験や知識を継承しようという思いを一人でももっていただけたならば意義があったと考えている。

(担当) 佐川 和裕

■刊行物

- ・ミニ展示リーフレット「ちょっとなつかしいもの」 A 4版 4頁 800部 (平成 11年 4月刊)
- ・企画展ポスター「相模湾の貝類Ⅱ ー大磯周辺海域の二枚貝ー」
B 3版 ー 400部 (平成 11年 7月刊)
- ・企画展チラシ「相模湾の貝類Ⅱ ー大磯周辺海域の二枚貝ー」
A 4版 ー 2,000部 (平成 11年 7月刊)
- ・ミニ展示リーフレット「ー館収蔵品によるー大磯ゆかりの人々の逸品3」
A 4版 4頁 コピー対応 (平成 11年 10月刊)
- ・Reportー大磯町郷土資料館だよりー18/19号 B 5版 12頁 2,000部 (平成 11年 10月刊)
- ・常設展リーフレット「ハレの『膳と椀』」 A 4版 4頁 2,000部 (平成 11年 10月刊)
- ・巡回展チラシ「弥生の幕あけ」 A 4版 ー 2,000部 (平成 11年 11月刊)
- ・年報ー平成 10年度ー A 4版 32頁 800部 (平成 11年 12月刊)
- ・学習参考資料展チラシ「かわってきたくらしの道具」 A 4版 ー 2,000部 (平成 12年 1月刊)
- ・学習参考資料展リーフレット「かわってきたくらしの道具」
A 4版 4頁 800部 (平成 12年 1月刊)

■調査・研究・普及

<調査、研究発表、普及等>

- ・博物館資料調査(年間、大磯町内外) 佐川和裕、國見 徹、北水慶一
- ・県博物館協会合同部会出席(年間、神奈川県立歴史博物館ほか) 國見 徹
- ・県博物館協会会報編集委員会出席(年間、神奈川県立歴史博物館) 國見 徹
- ・大磯小学校6年社会科講義(4月15日・16日、当館) 佐川和裕
- ・日本民俗学会シンポジウム出席(4月29日、墨田区曳舟文化センター) 佐川和裕
- ・国府小学校6年社会科講義(5月13日・14日、当館) 佐川和裕
- ・東海道400年情報交換会出席(5月13日、11月25日、神奈川県歴史博物館) 佐川和裕
- ・相模民俗学会総会出席(5月30日、神奈川県歴史博物館) 佐川和裕
- ・大磯町史民俗部会出席(6月5日、大磯町立図書館) 佐川和裕
- ・二宮小学校4年社会科講義(6月8日、当館) 佐川和裕
- ・大磯幼稚園磯の生き物講義(6月11日、町内) 北水慶一
- ・駒澤大学博物館学講座(6月20日、当館) 國見 徹
- ・生涯学習ボランティア講座講義(6月30日、大磯町生涯学習館) 佐川和裕
- ・県立湘南高等学校PTA史跡学習会講義(7月8日、湘南高校) 佐川和裕
- ・県博物館協会第2回研修会参加(7月16日、金沢八景・平潟湾周辺) 國見 徹
- ・中郡小学校教育研究会夏季社会科部会講義(7月29日、当館) 佐川和裕
- ・国府小学校2年生活科講義(9月8日、国府小学校) 佐川和裕
- ・貿易陶磁研究会大会参加(9月19日、青山学院大学) 國見 徹
- ・絵画資料をよむ会研究発表(9月24日、当館) 佐川和裕

- ・日本民俗学会年会参加（10月2日・3日、神奈川大学）佐川和裕
- ・二宮小学校4年社会科講義（10月6日、当館）佐川和裕
- ・県博物館協会第3回研修会参加（10月14日～15日、三重県立斎宮歴史博物館・鳥羽水族館）國見 徹
- ・大磯町生活環境課河川ウォッチング講義（10月17日、町内）北水慶一
- ・山西小学校2年生活科講義（10月26日、山西小学校）佐川和裕
- ・日本民具学会年会参加（11月13日・14日、成城大学）佐川和裕
- ・県博物館協会第5回研修会参加（11月19日、神奈川県歴史博物館）國見 徹
- ・県博物館協会第6回研修会参加（1月28日、東京ガス株式会社 環境エネルギー館）國見 徹
- ・国府小学校3年社会科講義（平成12年2月1日～4日、当館）佐川和裕
- ・大磯小学校3年社会科講義（2月8日・9日、当館）佐川和裕
- ・茅ヶ崎市文化資料館特別展講演会講演（2月20日、茅ヶ崎市民ギャラリー）佐川和裕
- ・馬場子ども会巣箱づくり講義（3月11日、当館）北水慶一
- ・藤沢市老人福祉センターこぶし荘高齢者大学現地学習講義（3月12日、当館・大磯町内）佐川和裕

<施設・展示解説>

- ・大磯中学校選択授業（5月7日、20人）
- ・大磯町機能訓練教室「たけのこの会」（6月2日、78人）
- ・蒲原町議会（8月27日、10人）
- ・新しいばらき旅の会（10月12日、40人）
- ・秦野市立渋沢公民館（10月28日、30人）
- ・県立小田原高等学校厚生委員会（平成12年2月19日、14人）
- ・相模原市立博物館（2月25日、3人）
- ・海老名市社会教育指導員（3月8日、7人）

<執筆>

佐川 和裕

1999. 4 『ちよつとなつかしいもの』大磯町郷土資料館ミニ展示リーフレット
- ・ 7.8.9.10.12/2000.1.2.3『民俗に親しむ会 Information』大磯町郷土資料館講座通信
 - ・ 7 「台風時における石の利用」『民具マンスリー』32巻4号 神奈川大学日本常民文化研究所
 - ・ 7 「ミニコラム 生ジラス」『民俗』第168号 相模民俗学会
 - ・ 10 『一館収蔵による一大磯ゆかりの人々の逸品3』大磯町郷土資料館ミニ展示リーフレット
 - ・ 10 「資料館の課題と展望」『Report 一大磯町郷土資料館だより』18/19号 大磯町郷土資料館
 - ・ 11 「ハレの食器と食事－神奈川県大磯町の事例－」『南関東の共有膳碗－ハレの食器をどうしていたか－』関東民具研究会
 - ・ 12 「分担執筆」『絵葉書でみる風景 100年前の横浜・神奈川』横浜開港資料館編 有隣堂
 - ・ 12 「二宮町山西の民俗（2）」『年報－平成10年度』大磯町郷土資料館
2000. 1 『かわってきたくらしの道具』大磯町郷土資料館学習参考資料展リーフレット
- ・ 3 「博物館・資料館と地理学－学芸員の立場から」『法政地理』31号 法政大学地理学会

國見 徹

1999. 10 「羈旅の什器 一人の移動の進暢と汽車土瓶」『都市・近郊の信仰と遊山・観光』雄山閣出版
- ・ 11 『弥生の幕あけ』巡回展リーフレット

■博物館実習

博物館学芸員資格取得のための実習として4大学より6名の学生を受け入れた。実習は7月21日のガイダンスと9月1日～12日(延べ11日間)の館務実習、計12日間であった。館務実習は例年、第1週、第2週で内容を分けており、第1週は考古、民俗、自然の分野別作業、梱包、軸物の取り扱いなど分野を問わず当館の全体を総合的に理解できる内容の作業を行い、第2週は常設展示室の一部展示替えを行っている。常設展示室の一部展示替えでは、実習生が主体となり、テーマを決める段階から、展示構想、リーフレット作成、展示作成等、実際の企画展と同様の一連の作業を進めていくものである。本年度は「ハレの『膳と椀』」をテーマとし、結婚式や祭り、葬式など特別な日に使われた膳椀に注目し、盛られる料理、膳椀の所有形態について紹介した。2週間という期間では地域博物館の実状及び学芸員の職責を理解するには少々期間としては短すぎる感もあるが、実習生皆が熱心に実習に臨む姿が見られ、充実した2週間が送られたのではないかと考えている。以下、実習生一覧と博物館実習のカリキュラムを紹介する。

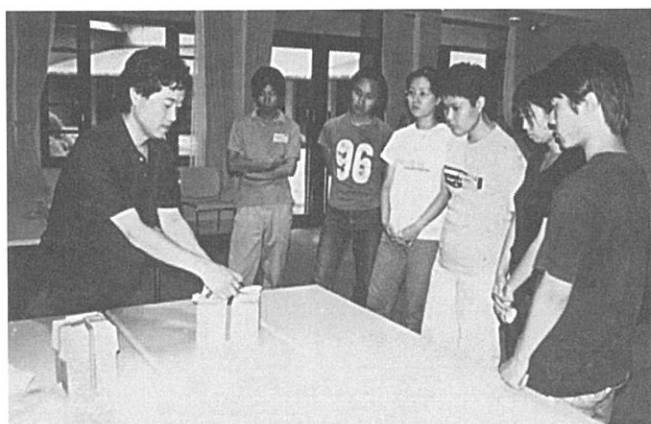
<実習生>

川嶋一史(東海大学)、山根航(東海大学)、塩海加代子(青山学院大学)、石橋直子(駒澤大学)、茂木直人(駒澤大学)、勝谷ひろみ(立正大学)

<カリキュラム>

| | | | |
|----------|-----------------------------------|----------|-------------------------------------|
| 7月21日(水) | 事前ガイダンス、館内見学 | 9月7日(火) | 町内施設見学、展示替実習 (企画立案・資料調査) |
| 9月1日(水) | 講義、町内史跡等見学 | 9月8日(水) | 展示替実習(資料調査) |
| 9月2日(木) | 実技実習(梱包・資料取り扱い・ 16mm 映写機操作) | 9月9日(木) | 展示替実習(旧展示片付・資料調査、 写真撮影・リーフレット作成) |
| 9月3日(金) | 考古・民俗系実習(写真撮影・ 接合・聞取調査・資料取り扱い) | 9月10日(金) | 展示替実習(写真撮影・展示機材 作成・リーフレット作成) |
| 9月4日(土) | 自然系実習(ミニ観察会・ 資料取り扱い) | 9月11日(土) | 展示替実習(資料展示・ リーフレット作成) |
| 9月5日(日) | 民俗系実習(資料整理) 展示替実習(企画立案) | 9月12日(日) | 展示替実習(資料展示・記録・ リーフレット作成)、総括 |

(担当) 國見 徹、佐川和裕、北水慶一



梱包の実習



展示替実習

■博物館資料の収集と利用

<寄贈資料>

(敬称略)

| No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|------|------------|-----------|-----|------------------|------|------------|------------------|-----|------------------|
| 0401 | H11. 4. 15 | 折り紙 他 | 5 | 木村純子 大磯町大磯 | 1101 | H11. 11. 5 | 角帯 | 1 | 今井きみゑ 平塚市夕陽丘 |
| 0402 | 4. 27 | 編み機 | 1 | 加藤登思枝 大磯町国府本郷 | 1102 | 11. 5 | 鎌倉囃子道具 | 一括 | 渡邊長吉 大磯町西小磯 |
| 0403 | 4. 30 | アイロン 他 | 2 | 加藤登思枝 大磯町国府本郷 | 1103 | 11. 5 | 蝶標本 | 137 | 木村純子 大磯町大磯 |
| 0404 | 4. 30 | ラジオ 他 | 6 | 木村純子 大磯町大磯 | 1104 | 11. 10 | 手拭い 他 | 11 | 木村純子 大磯町大磯 |
| 0501 | 5. 9 | コメビツ | 1 | 片野直三 大磯町高麗 | 1105 | 11. 17 | 二重まわし 他 | 4 | 渡邊長吉 大磯町西小磯 |
| 0502 | 5. 25 | 電気冷蔵庫 他 | 13 | 込山智子 藤沢市辻堂 | 1201 | 12. 2 | 箱船の栓 他 | 2 | 西山敏夫 二宮町山西 |
| 0601 | 6. 10 | 蝶標本 | 42 | 木村純子 大磯町大磯 | 1202 | 12. 4 | 雑誌 | 1 | 込山智子 藤沢市辻堂 |
| 0602 | 6. 15 | 考古資料 | 一括 | 山田裕示 大磯町国府本郷 | 1203 | 12. 7 | オカマサン (自在鉤) 他 | 15 | 鈴木茂子 大磯町大磯 |
| 0603 | 6. 22 | 蝶標本 | 48 | 木村純子 大磯町大磯 | 1204 | 12. 7 | 長持 他 | 91 | 湯口正毅 大磯町大磯 |
| 0604 | 6. 23 | 古文書 | 2 | 寺井良廣 大磯町大磯 | 1205 | 12. 14 | 柱時計 | 1 | 岩崎侯橋 大磯町生沢 |
| 0605 | 6. 25 | 従軍記章 | 1 | 寺井良廣 大磯町大磯 | 1206 | 12. 15 | 天秤棒 他 | 6 | 西山敏夫 二宮町山西 |
| 0606 | 6. 26 | トックリバチの巣 | 1 | 露木利光 大磯町国府本郷 | 1207 | 12. 15 | 写真 | 1 | 池田睦子 茅ヶ崎市南湖 |
| 0701 | 7. 2 | 文化鍋 他 | 38 | 木村純子 大磯町大磯 | 1208 | 12. 16 | 羽織 他 | 2 | 渡邊長吉 大磯町西小磯 |
| 0702 | 7. 21 | 蝶標本 | 48 | 木村純子 大磯町大磯 | 1209 | 12. 17 | 烏帽子 | 1 | 新見紀雄 大磯町東小磯 |
| 0703 | 7. 29 | 看板 | 1 | 斎藤安之助 大磯町大磯 | 0101 | H12. 1. 7 | ビール瓶 | 1 | 渡邊恵子 大磯町東町 |
| 0704 | 7. 29 | 絵はがき 他 | 111 | 木村純子 大磯町大磯 | 0102 | 1. 9 | 茶箆筥 他 | 32 | 土方武治 大磯町虫窪 |
| 0801 | 8. 3 | 電話機 | 2 | 西海 誠 大磯町大磯 | 0104 | 1. 20 | 稲荷講の幟 | 1 | 箕島格造 大磯町国府新宿 |
| 0802 | 8. 6 | 蝶標本 | 32 | 木村純子 大磯町大磯 | 0105 | 1. 21 | アイロン 他 | 8 | 渡邊恵子 大磯町東町 |
| 0803 | 8. 17 | 半纏 | 1 | 竹永紋子 大磯町大磯 | 0106 | 1. 22 | 電気冷蔵庫 | 1 | 渡辺 勇 小田原市久野 |
| 0804 | 8. 24 | アオバト | 1 | 南那津子 大磯町大磯 | 0201 | 2. 2 | 文化食料 保温ケース 他 | 一括 | 渡邊 圭 大磯町東小磯 |
| 0806 | 8. 31 | 蝶標本 他 | 45 | 木村純子 大磯町大磯 | 0202 | 2. 8 | 扇風機 | 1 | 滝沢すみ子 大磯町生沢 |
| 0901 | 9. 4 | 貝標本 | 一括 | 今井きみゑ 平塚市夕陽ヶ丘 | 0203 | 2. 13 | カメラ | 4 | 畠山恵子 二宮町富士見が丘 |
| 0902 | 9. 12 | 砂 (稲村ヶ崎産) | 1 | 塩海加代子 小田原市小八幡 | 0204 | 2. 16 | レコード | 85 | 山本武男 大磯町大磯 |
| 0903 | 9. 12 | 砂 (酒匂川産) | 1 | 茂木直人 山北町岸 | 0205 | 2. 16 | 鳥の巣 他 | 4 | 木村純子 大磯町大磯 |
| 0904 | 9. 12 | 砂 (相模川産) | 1 | 石橋直子 平塚市大神 | 0206 | 2. 22 | 草履 他 | 一括 | 中村 敬 大磯町大磯 |
| 0905 | 9. 22 | 蝶標本 他 | 89 | 木村純子 大磯町大磯 | 0207 | 2. 22 | 記章 他 | 53 | 原 恒之 大磯町大磯 |
| 0906 | 9. 29 | 雑誌 他 | 180 | 野島嘉章 大磯町大磯 | 0301 | 3. 1 | 机・椅子 | 4 | 中村 敬 大磯町大磯 |
| 1002 | 10. 6 | テレビ 他 | 一括 | 山口 修 大磯町国府本郷 | 0303 | 3. 5 | 蚊帳 | 1 | 岡田 登 大磯町国府本郷 |
| 1003 | 10. 6 | マムシ | 1 | 伊達建設(株) | 0305 | 3. 16 | 弁当箱 他 | 3 | 畠山恵子 二宮町富士見が丘 |
| 1004 | 10. 13 | 五月人形 | 一括 | 川島啓司 二宮町富士見が丘 | 0306 | 3. 18 | 飾り紐見本 他 | 4 | 端山 稔 大磯町高麗 |
| 1005 | 10. 26 | 醤油のモロミ桶 | 1 | 柳下 清 大磯町虫窪 | 0307 | 3. 18 | 古写真 他 | 一括 | 西海 誠 大磯町大磯 |
| 1007 | 10. 29 | 写真 | 1 | 近藤高次 大磯町国府本郷 | 0308 | 3. 30 | 書籍 | 一括 | 加藤登思枝 大磯町国府本郷 |

< 寄託資料 >

(敬称略、寄託期間：H10. 4. 1～H12. 3. 31)

| No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 受入先 | No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|------|-----------|---------|----|-----------------|------|-----------|---------|----|------------------|
| 0401 | H10. 4. 1 | 雛人形 | 一式 | 田川順三 横浜市緑区 | 0411 | H10. 4. 1 | 七夕資料 他 | 一括 | 小見康夫 西小磯西子ども会 |
| 0402 | 4. 1 | 高札 | 3 | 坂井保治 大磯町黒岩 | 0412 | 4. 1 | 四季耕作図 他 | 9 | 守屋町子 大磯町黒岩 |
| 0403 | 4. 1 | 一本松講中資料 | 一括 | 宮代治吉 大磯町大磯 | 0413 | 4. 1 | 稲荷講資料 | 一括 | 中村晴夫 大磯町西小磯 |
| 0404 | 4. 1 | 菊池重三郎資料 | 一括 | 菊池なつみ 大磯町大磯 | 0414 | 4. 1 | 掛軸 他 | 一括 | 斎藤文雄 西小磯(東西)区 |
| 0405 | 4. 1 | サフラン看板 | 1 | 添田佐助 大磯町国府本郷 | 0415 | 4. 1 | 統監帽 他 | 一括 | 斎藤文雄 西小磯(東)区 |
| 0406 | 4. 1 | 掛軸 | 1 | 高木とみ子 大磯町西小磯 | 0416 | 4. 1 | 獅子頭 | 2 | 原田繁雄 裡道区 |
| 0407 | 4. 1 | 書(断片) | 一括 | 加藤文八 平塚市諏訪町 | 0417 | 4. 1 | 書籍 他 | 一括 | 飯島成三 横浜市中区 |
| 0408 | 4. 1 | 古文書 | 一括 | 後藤 勲 大磯町月京 | 0418 | 4. 1 | 吉田茂杯 他 | 5 | 本田博造 大磯中学校 |
| 0409 | 4. 1 | 稲荷講資料 | 一括 | 戸塚 浩 大磯町西小磯 | 0419 | 4. 1 | 古文書 | 一括 | 近藤敬一郎 東京都新宿区 |
| 0410 | 4. 1 | 書籍 | 2 | 山川 正 大磯町月京 | | | | | |

< 移管資料 >

| No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 受入先 |
|------|------------|----------|----|----------|
| 0805 | H11. 8. 24 | 地盤調査報告書 | 1 | 大磯町都市計画課 |
| 1001 | 10. 1 | 地質・土質標本他 | 35 | 大磯町総務課 |
| 0309 | H12. 3. 30 | トロフィー | 1 | 大磯中学校 |

< 採集資料 >

| No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 採集先 |
|------|-------------|--------|----|------|
| 1210 | H11. 12. 21 | 土器 | 一括 | 大磯町内 |
| 0103 | H12. 1. 11 | 土師器 他 | 4 | 大磯町内 |
| 0302 | 3. 2 | 赤レンガ 他 | 一括 | 大磯町内 |
| 0304 | 3. 14 | 土器 | 一括 | 大磯町内 |

< 購入資料 >

| No. | 受入年月 | 資料名 | 数量 | 購入先 |
|------|-------------|-----|----|-----|
| 1211 | H11. 12. 21 | 地図 | 7 | 忠敬堂 |

<資料の館外貸出>

| 資料名 | 点数 | 利用目的 | 期間 | 申請者 | 資料名 | 点数 | 利用目的 | 期間 | 申請者 |
|--------------------|----|-------------|-------------------------|------------------|-------|----|-------|----------------------------|-------------------|
| 写真 | 2 | 刊行物掲載 | H11. 4. 13 ～ 5. 2 | 大磯町消防本部 | 考古資料 | 14 | 展示 | H11. 11. 22 ～H12. 2. 2 | 東海大学校地内 遺跡調査団 |
| 写真 | 5 | 刊行物掲載 | 5. 14 ～ 6. 30 | 青森県立郷土館 | 書籍 | 4 | 参考資料 | H11. 12. 15 ～H12. 1. 6 | 個人 |
| 写真 | 2 | 刊行物掲載 | 6. 1 ～ 7. 1 | 日本経済新聞社 | 書籍 | 1 | 参考資料 | H11. 12. 21 ～ 12. 25 | 個人 |
| 注口土器 | 4 | 展示 | 6. 2 ～ 7. 31 | 青森県立郷土館 | 書籍 | 11 | 町史編纂 | H12. 1. 12 ～ 2. 1 | 大磯町生涯学習課 |
| ビデオテープ (御船祭り 他) | 3 | 参考資料 | 6. 17 ～ 7. 6 | 個人 | 書籍 | 11 | 町史編纂 | 1. 14 ～ 3. 31 | 大磯町生涯学習課 |
| 文書 | 5 | 町史編纂 | 7. 15 ～ 8. 17 | 大磯町企画政策室 | 写真 | 4 | 刊行物掲載 | 1. 21 ～ 2. 9 | (株)郷土出版社 |
| 写真 | 36 | 刊行物掲載 展示 | 9. 2 ～ 10. 12 | 平塚市博物館 | 写真 | 16 | 刊行物掲載 | 1. 29 ～ 6. 14 | (株)日本出版 |
| 書籍 | 1 | 学習資料 | 9. 11 ～ 9. 30 | 個人 | 考古資料 | 4 | 参考資料 | 1. 30 ～ 2. 15 | 東海大学文学部 考古学研究室 |
| 写真 | 1 | 刊行物掲載 | 9. 21 ～ 12. 10 | 大磯町学校教育課 | 考古資料 | 14 | 町史編纂 | 2. 1 ～ 2. 29 | 大磯町生涯学習課 |
| 民俗資料 | 1 | 展示 | 10. 1 ～ 11. 26 | 平塚市博物館 | 文書 | 58 | 町史編纂 | 3. 7 ～ 5. 31 | 大磯町生涯学習課 |
| 絵はがき | 34 | 刊行物掲載 展示 | 10. 8 ～ 10. 27 | 横浜開港資料館 | 写真 | 1 | 刊行物掲載 | 3. 9 ～ 4. 11 | (財)かながわ海岸 美化財団 |
| 掛幅 (四季耕作図) | 1 | 展示 | 10. 20 ～ 12. 10 | 相模原市立博物館 | 掛幅 他 | 5 | 祭礼 | 3. 11 ～ 3. 12 | 西小磯(東西)区 |
| 写真 | 8 | 展示 | 11. 2 ～ 11. 11 | 神奈川県 湘南なぎさ事務所 | 写真、書籍 | 3 | 刊行物掲載 | 3. 23 ～ 4. 11 | (株)かまくら春秋社 |

<資料の特別利用>

| 資料名 | 点数 | 利用方法 | 年月日 | 申請者 | 資料名 | 点数 | 利用方法 | 年月日 | 申請者 |
|--------------|----|----------------|------------|------------------|------|----|-------|-------------|------------------|
| 古写真 | 2 | 複写/発表 | H11. 4. 28 | 個人 | 文献 | 2 | 複写/配布 | H11. 11. 10 | 個人 |
| 絵はがき | 3 | 撮影/展示 (再利用) | 5. 7 | 神奈川県 湘南なぎさ事務所 | 展示資料 | 8 | 撮影/展示 | 11. 11 | 神奈川県 湘南なぎさ事務所 |
| 館内展示 | - | 撮影/掲載 | 5. 14 | (株)ナウ・ノンストップ | 館内展示 | - | 撮影 | 11. 19 | 個人 |
| 絵はがき 館内展示 | 17 | 撮影/放映 | 6. 16 | T V Kテレビ | 館内展示 | - | 撮影 | 11. 21 | 個人 |
| 絵はがき 館内展示 | 5 | 撮影/放映 | 6. 26 | テレビ東京 | 館内展示 | - | 撮影/資料 | 11. 24 | 個人 |
| 館内展示 | - | 撮影 | 8. 6 | 個人 | 企画展示 | - | 撮影/掲載 | 11. 28 | (財)かながわ考古 学財団 |
| 館内展示・外観 | - | 撮影/掲載 | 8. 19 | プランニングアドゥ | 錦絵 他 | 15 | 撮影/掲載 | 12. 1 | 大磯町町民課 |
| 外観 | - | 撮影/掲載 | 8. 3 | YOKOHAMAぴあ | 企画展示 | - | 撮影/学習 | H12. 2. 22 | 個人 |
| 館内展示 | - | 撮影 | 9. 1 | 個人 | 企画展示 | - | 撮影/学習 | 2. 3 | 個人 |
| 館内展示 | - | 撮影 | 9. 1 | 個人 | 企画展示 | - | 撮影/発表 | 2. 10 | 個人 |
| 写真 | 23 | 複写/掲載 | 9. 2 | 平塚市博物館 | 企画展示 | - | 撮影/学習 | 2. 12 | 個人 |
| 館内展示 | - | 撮影/掲載 | 9. 14 | 神奈川県新聞社 | 企画展示 | - | 撮影/発表 | 2. 13 | 個人 |
| 展示資料・文献 | 9 | 複写/発表 | 9. 16 | 個人 | 館内展示 | - | 撮影/学習 | 2. 19 | 個人 |
| 展示資料 | 1 | 撮影/発表 | 9. 18 | 個人 | 企画展示 | - | 撮影/発表 | 3. 18 | 個人 |
| 館内展示 | - | 撮影/研究 | 9. 21 | 個人 | 館内展示 | - | 撮影 | 3. 24 | 個人 |
| 民俗資料 | 5 | 撮影・採寸 発表 | 9. 22 | 個人 | | | | | |

<寄贈図書一覧>

| 出版地 | 寄贈者 | 書名 | 発行年月 |
|-------------------------------|---|---------------------------------|-----------|
| 伊勢原市 | 伊勢原市立こども科学館 | 『平成10年度 感想文集』 | 1999/06 |
| | | 『平成11年版 伊勢原市立子ども科学館年報』 | 1999/11 |
| | | 『平成10年度 子ども科学館 教育普及活動報告』 | 1999/07 |
| 寒川町 | 寒川町企画部町史編さん課 | 『寒川町史研究 第十二号』 | 1999/03 |
| | | 『寒川町史調査報告書9 ー近現代の石造物ー』 | 1999/03 |
| | | 『寒川町史新聞記事目録 第10集』 | 1999/02 |
| | | 『寒川町史 6』 | 1998/11 |
| 茅ヶ崎市 | 寒川町教育委員会 神奈川県湘南なぎさ事務所 茅ヶ崎市教育委員会 茅ヶ崎市文化資料館 | 『神奈川高座郡寒川町 倉見才戸遺跡発掘調査報告書 第3次調査』 | 1999/03 |
| | | 『湘南海岸 ー神奈川県湘南なぎさ事務所のあゆみー』 | 1999/03 |
| | | 『平成10年度 茅ヶ崎の社会教育』 | 1999/03 |
| | | 『茅ヶ崎 自然の新聞』 第194～206号 | 1999-2000 |
| | | 『資料館だより No.107』 | 2000 |
| | | 『茅ヶ崎自然の新聞15周年記念特別号』 | 1999/02 |
| 秦野市 | 丹沢自然保護協会 秦野市教育委員会 | 『文化資料館調査研究報告 7』 | 1999/03 |
| | | 『丹沢だより』 No.352～362 | 1999-2000 |
| | | 『秦野の文化財』 第34集～第35集 | 1998-1999 |
| | | 『秦野のすまい(1) 農家編』 | 1998/03 |
| | | 『秦野のすまい(2) 町家編』 | 1999/03 |
| | | 『秦野の石仏(一) ー西・上地区ー』 | 1998/03 |
| | | 『秦野の石仏(二) ー大根・南地区ー』 | 1999/03 |
| | | 『秦野の城郭』 | 1999/03 |
| | | 『今泉遺跡群』 | 1998/03 |
| | | 『桜土手古墳展示館』 Vol. 14～17 | 1997-1999 |
| 平塚市 | 秦野市立桜土手古墳展示館 ささりんどうクラブ 東海大学校地内遺跡調査団 東海大学文学部広報委員会 平塚市教育委員会 平塚市中央図書館 平塚市博物館 平塚市美術館 | 『土屋郷土史 1999』 | 1999/11 |
| | | 『王子ノ台遺跡 第Ⅱ巻 歴史時代編』 | 1999 |
| | | 『第10回 足もとに眠る歴史 相模国のはじまり』図録 | 1999 |
| | | 『キャンパス・グラフィティ』 No.1～9 | 1999 |
| | | 『平塚市真田・北金目遺跡群 発掘調査報告書1 1～3区』 | 1999 |
| | | 『平塚の文化財』 | 1999/03 |
| | | 『高林寺遺跡 他』 | 1999/03 |
| | | 『平塚市中央図書館参与室所蔵 地方行政目録 平成10年度』 | 1999/03 |
| | | 特別展 『相模の道祖神』図録 | 1999 |
| | | 特別展 『星の地図・星の住所』図録 | 2000 |
| | | 『展示解説ボランティアの会 No.1』 | 1999 |
| | | 『博物館ガイド』 | 1999/03 |
| | | 『平塚市博物館 年報 No.22』 | 1999/03 |
| | | 『平塚市博物館資料No.48 動物資料目録Ⅱ』 | 1999/03 |
| | | 『自然と文化 No.22』 | 1999/03 |
| | | 『平塚の石仏 ー改訂版ー 1. 平塚地区編』 | 1998/09 |
| | | 『平塚の石仏 ー改訂版ー 2. 城島地区編』 | 1999/01 |
| | | 『平塚市史 11上 別編考古(1)』 | 1999/03 |
| | | 『幻想植物園展』図録 | 1998 |
| | | 『鳥海青児デッサン展』図録 | 1999 |
| 『堀内誠一 雑誌と絵本の世界』展 | 1999 | | |
| 『日々の詩 日本画のとらえた日常の情景』 | 1998 | | |
| 『広重風景版画展』図録 | 1999 | | |
| 『「幻想植物園」展 ワークショップクラブ活動ドキュメント』 | 1999 | | |
| 『平塚市美術館年報』 平成7～9年度 | 1997-1998 | | |
| 藤沢市 | 日本大学生物資源科学部資料館 藤沢市教育委員会 藤沢市文書館 | 『資料館報 No.8 1998』 | 1999/03 |
| | | 『藤沢市長後上ノ原 (No.372) 遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/05 |
| | | 企画展 『絵葉書に見る江の島今昔』図録 | 1999 |
| | | 『博物館準備だより No.2』 | 1999 |
| | | 『藤沢の文化財』 | 1999/03 |
| | | 『藤沢市文化財調査報告書 第三十四集』 | 1999/03 |
| | | 『南鍛冶山遺跡発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | | 『FUJISAWA 1945-1959』 | 1999/03 |
| | | 『神奈川県埋蔵文化財包蔵地図 藤沢市域版』 | 1999/04 |
| | | 『藤沢市文書館 紀要二十二』 | 1999/03 |
| 『藤沢市史研究 32』 | 1999/03 | | |

| | | | |
|------|------------------|--|-----------|
| | | 『小川泰堂「四歳目録」(下)』 | 1999/03 |
| | | 『藤沢市史新聞記事目録<横浜貿易新報・大正後期 I 編>』 | 1999/03 |
| | | 『藤沢市史資料所在目録稿』 | 1999/03 |
| | | 『ENOSIMA AQUARIUM NEWS』 No.13 | 1999 |
| 小田原市 | 株江ノ島水族館 | 『小田原市郷土文化館研究報告 No.35』 | 1999/03 |
| | 小田原市郷土文化館 | 特別展 『小田原城天守閣新規収蔵資料展』図録 | 1999 |
| | 小田原城天守閣 | 特別展 『海から生まれた神奈川』図録 | 1999 |
| | 神奈川県立 生命の星・地球博物館 | 特別展 『のぞいてみよう! 5億年前の海』図録 | 1999 |
| | | 『神奈川県立 生命の星・地球博物館年報 第4号(1999年度)』 | 1999/12 |
| | | 『自然科学のとびら』 第16~19号 | 1999-2000 |
| | | 『神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第3号 (1997年度)』 | 1999/03 |
| | | 『伊豆・小笠原弧の研究 ―伊豆・小笠原弧のテクトニクスと火成活動』 | 1999/03 |
| 中井町 | 江戸民具街道 | 『神奈川県西部地域ミュージアム連絡会会報 Vol. 1 No.2 通巻2号』 | 1999/11 |
| 箱根町 | 箱根町立郷土資料館 | 『館報 第15号』 | 1999/03 |
| | | 『かなしんブックス(47) 箱根Q&A125 箱根叢書(30)―その歴史と自然―』 | 2000/03 |
| | | 『郷土資料館資料集2 箱根彩景』 | 2000/03 |
| | | 『館報 第16号』 | 2000/03 |
| | | 『箱根やすらぎの森 フィールドガイド』 No.1~5 | 1996-2000 |
| 真鶴町 | 箱根町立森のふれあい館 | 『海の貴婦人(貝類絵葉書図譜)』 | 1999/09 |
| | 遠藤貝類博物館 | 『美術館だより 第8号』 | 2000 |
| | 真鶴町立中川一政美術館 | 特別展 『南足柄の縄文時代』図録 | 1999 |
| 南足柄市 | 南足柄市郷土資料館 | 『足柄の文化 第26号』 | 1999/04 |
| 山北町 | 山北町教育委員会 | 『神奈川県山北町 南原古墳群 試掘調査報告書』 | 1999/03 |
| 横浜市 | (財)かながわ考古学財団 | 『かながわの遺跡展 弥生の幕あけ』図録 | 1999 |
| | | 『上粕屋・上尾崎遺跡(No.10)/上粕屋・ノ引遺跡(No.11)/ 上粕屋・ノ引西遺跡(No.12東)』 | 1999/03 |
| | | 『研究紀要4 かながわの考古学』 | 1999/03 |
| | | 『神戸・上宿遺跡(No.15)』 | 1999/03 |
| | | 『池子遺跡群 VIII』 | 1999/03 |
| | | 『尾藤谷やぐら群』 | 1999/03 |
| | | 『釜利谷東6丁目西地区やぐら群/谷津町北地区横穴墓』 | 1999/03 |
| | | 『下大槻峯遺跡(No.30) III』 | 1999/03 |
| | | 『上粕屋・小山遺跡(No.9・39)/三ノ宮・下御領原遺跡(No.12西)/ 上粕屋・ノ引東遺跡(No.40)/上粕屋・ノ引南遺跡(No.41)』 | 1999/03 |
| | | 『鉢ノ木遺跡(No.27)』 | 1999/03 |
| | | 『三ノ宮・下谷戸遺跡(No.14) I』 | 1999/03 |
| | | 『池子遺跡群 総集編』 | 1999/03 |
| | | 『臼久保遺跡 (第1~3分冊)』 | 1999/03 |
| | | 『吉岡遺跡群 V』 | 1998/03 |
| | | 『福泉遺跡(No.342)所在やぐら群』 | 1999/09 |
| | | 『長勝寺跡(No.88)所在やぐら群』 | 1999/10 |
| | | 『極楽寺やぐら群(No.128)』 | 1999/11 |
| | | 『一升榭遺跡(No.293)所在やぐら群』 | 1999/11 |
| | | 『鎌倉城(No.87)所在やぐら群』 | 1999/10 |
| | | 『年報 6 平成10年版』 | 1999/10 |
| | | 『歌舞島やぐら群・げんじ加谷横穴墓群及びやぐら群・高山横穴群 ・堂地谷やぐら群』 | 1999/03 |
| | | 『新宮台横穴墓』 | 1999/12 |
| | | 『松輪坪井横穴墓群』 | 1999/11 |
| | | 『上粕屋・小山遺跡/三ノ宮・下御領原遺跡/上粕屋・ノ引東遺跡/ 上粕屋・ノ引南遺跡』 | 1999/03 |
| | | 『下大槻峯遺跡(No.30) III』 | 1999/03 |
| | | 『鉢ノ木遺跡(No.27)』 | 1999/03 |
| | | 『三ノ宮・下谷戸遺跡(No.14) I』 | 1999/03 |
| | | 『福田丙二ノ区遺跡』(図録) | 1999/12 |
| | | 『(かながわ考古学財団調査報告68) 福田丙二ノ区遺跡』 | 1999/12 |
| | (財)神奈川文学振興会 | 『神奈川近代文学館』 第64~66号 | 1999-2000 |
| | (財)横浜市勤労福祉財団 | 『技能文化』 第9号 | 1999 |
| | 「ウェインズ」編集室 | 『Weins vol. 52 1999.7-8』 | 1999/07 |
| | ENO (株)イーノ | 『であい道 KANAGAWA 創刊号 2000/1』 | 2000/01 |
| | 神奈川近代文学館 | 『神奈川近代文学館年報 1998年度』 | 1999/06 |
| | 神奈川県青少年総合研修センター | 『情報交差点 ゆうゆう 第6号』 | 1999 |
| | 神奈川県教育庁教育部生涯学習課 | 『神奈川県 埋蔵文化財調査報告41』 | 1999/03 |
| | | 『埋蔵文化財関係統計資料』 | 1999/11 |

| | | |
|-----------------|---------------------------------------|-----------|
| 神奈川県教育庁生涯学習課 | 『PLANET かながわ No.10』 | 1999 |
| 神奈川県中教育事務所 | 『バルーン』 創刊号～No.3 | 1999 |
| 神奈川県町村会 | 『かながわ町村会報』 第90～93号 | 1999-2000 |
| 神奈川県博物館協会 | 『NETWORK 第21号』 | 1999 |
| | 『神奈川県博物館協会会報』 第70～71号 | 1999-2000 |
| | 『かながわのミュージアム』 | 1999 |
| 神奈川県民俗芸能保存協会 | 『かながわの民俗芸能 第63号』 | 1999 |
| 神奈川県立公文書館 | 『神奈川県立公文書館紀要 第2号』 | 1999/03 |
| | 『歴史目録 第2集 行政資料編』 | 1998/03 |
| 神奈川県立図書館 | 『郷土神奈川』 第36～37号 | 1998-1999 |
| | 『郷土神奈川 第37号』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県関係 新聞記事索引』 第36～37集 | 1998-1999 |
| | 『地域資料目録・主題別シリーズ2 神奈川県関係人物伝記図書目録』 | 1998/03 |
| | 『二宮尊徳および報徳関係資料目録』 | 1999/03 |
| 神奈川県立歴史博物館 | 『神奈川県立図書館 地域資料目録 1996年受入』 1996～1999受入 | 1998-2000 |
| | 特別展 『磁器の技と美 —有田そして瀬戸へ—』 図録 | 1999 |
| | 特別展 『横浜浮世絵と近代日本』 図録 | 1999 |
| | 特別展 『源頼朝とゆかりの寺社の名宝』 図録 | 2000 |
| | 『神奈川県立歴史博物館だより』 第148～152号 | 1999 |
| | 『神奈川県民俗調査報告20 農耕習俗と農具(Ⅲ)』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県立博物館総合報告 総合研究—地域社会と近世文学』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県立博物館研究報告 —人文科学— 第25号』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県立 歴史博物館年報 平成10年度』 | 1999/10 |
| 神奈川地域史研究会 | 『会報』 第51号～54号 | 1998-1999 |
| | 『神奈川地域史研究 第17号』 | 1999/03 |
| 神奈川トヨタ㈱ | 『OFF Vol. 27』 | 1999/05 |
| グリーンタフ事務局 | 『自然観察』 第213～223号 | 1999-2000 |
| コープかながわ組合員活動推進室 | 『燦・SUN 第11号』 | 1999/08 |
| 寺家ふるさと村「四季の家」 | 『はなあふ通信』 5・6月号～3・4月号 | 1999-2000 |
| 玉川文化財研究所 | 『横浜市緑区 宿根西遺跡発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県相模原市 当麻谷原遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/08 |
| | 『神奈川県藤沢市 鍛冶山遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/08 |
| | 『神奈川県大和市 大和No.189遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/10 |
| | 『神奈川県南足柄市 御茶屋通遺跡 第2地点 発掘調査報告書』 | 1999/05 |
| | 『神奈川県茅ヶ崎市 本社A遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県小田原市 千代東町遺跡 第I地点 発掘調査報告書』 | 1999/06 |
| | 『神奈川県伊勢原市 下平間・水草遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/07 |
| | 『神奈川県伊勢原市 粕上原遺跡発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県伊勢原市 稲荷久保遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県伊勢原市 東大竹下原遺跡発掘調査報告書』 | 1999/12 |
| | 『横浜市緑区 宿根南遺跡発掘調査報告書』 | 1999/12 |
| | 『神奈川県藤沢市 藤沢市No.322遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県高座郡寒川町 宮山遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『川崎市幸区 幸区No.7遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県城山町 川尻遺跡(城山町No.1遺跡)発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| | 『神奈川県津久井町 泉宮三ヶ木団地遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 |
| 馬の博物館 | 『馬の博物館だより』 No.33～34 | 1999 |
| | 『馬の博物館 研究紀要 第11号』 | 1998/12 |
| | 『平成10年度 馬事文化財団年報 通巻第20号』 | 1999/08 |
| | 春季特別展 『版面に表された馬』 図録 | 1999 |
| | 秋季特別展 『馬ふしぎ展』 図録 | 1999 |
| 横浜市教育委員会 | 『平成9年度 文化財年報(埋蔵文化財 その16)』 | 1999/03 |
| | 『小丸遺跡』 | 1999/03 |
| 横浜自然観察の森 | 『円海山ボランティア通信』 No.4・5 | 1999 |
| | 『ガイドブック 横浜自然観察の森 森のちいさなおとしもの』 | 1997/12 |
| | 『1999横浜自然観察の森 事業概要書 第11号』 | 1999/07 |
| | 『1998年度 横浜自然観察の森 調査報告4』 | 1999/07 |
| | 『ゴロスケ報々』 第65～70号 | 1999-2000 |
| 横浜市中央図書館 | 『郷土よこはま』 132～133 | 1998-1999 |
| 横浜市立金沢動物園 | 『横浜市動物園年報 平成10年度』 | 1998 |
| | 『ZOO よこはま』 No.37～38 | 1999 |
| 横浜市歴史博物館 | 特別展 『兵の時代 古代末期の東国社会』 図録 | 1998 |
| | 企画展 『横浜発掘物語』 図録 | 1998 |
| | 『新収蔵資料展 '98』 図録 | 1998 |

| | | | |
|------|--------------------|--|-----------|
| | | 『収蔵資料展Ⅱ』図録 | 1998 |
| | | 企画展 『たこ凧あがれ』図録 | 1999 |
| | | 特別展 『中世よこはまの学僧 印融』図録 | 1997 |
| | | 企画展 『絵図・古文書で探る 村と名主』図録 | 1998 |
| | | 『横浜市歴史博物館 NEWS』 No.8～10 | 1999 |
| | | 『横浜市歴史博物館資料目録 第6集』 | 1997/09 |
| | | 『平成9年度版 年報』 | 1998/12 |
| | 横浜人形の家 | 特別展 『あこがれのフランス人形』図録 | 1999 |
| | 横浜マリタイムミュージアム | 企画展 『横浜港の140年』図録 | 1999 |
| | | 『マリタイムミュージアムニュース』 No.7 | 1999 |
| | (株)有隣堂 | 『100年前の横浜・神奈川』 | 1999/12 |
| 川崎市 | 川崎市教育委員会 | 『川崎市宮前区 野川東耕地遺跡第2地点』 | 2000/01 |
| | 川崎市市民ミュージアム | 『museum news』 Vol.49～53 | 1999～2000 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム収蔵目録 民俗資料 第3集』 | 1999/03 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム収蔵目録 考古資料 第2集』 | 1999/03 |
| | | 『川崎市市民ミュージアム 紀要 第11集』 | 1999/03 |
| | | 『川崎物語集』 巻一～巻六, 別巻 | 1998/03 |
| | 川崎市立日本民家園 | 『日本民家園だより』 第40～42号 | 1999～2000 |
| | 細山郷土資料館 | 『ほそ山』 第19号 | 1999 |
| 鎌倉市 | 鎌倉市教育委員会 | 『鎌倉市保寧寺跡 —第2次調査—』 | 1997/09 |
| | | 『鎌倉市 若宮大路周辺遺跡群』 | 1999/03 |
| | | 『大仏切通周辺詳細分布調査報告書』 | 1999/03 |
| | | 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書15 平成10年度発掘調査報告』 | 1999/03 |
| | | 第1～2分冊 | |
| | 鎌倉文学館 | 特別展 『永井 路子』図録 | 1999 |
| | | 特別展 『川端康成』図録 | 1999 |
| 葉山町 | 葉山しおさい博物館 | 『潮騒だより』 No.10～11 | 1999～2000 |
| | | 『潮騒ガイドブック④ 海岸の打ち上げ物(2) 海洋生物編』 | 1999/03 |
| | | 『潮騒ガイドブック⑤ 三浦半島 磯の生物』 | 2000/03 |
| 横須賀市 | (社)観音崎自然博物館 | 『たたらはま』 No.14 | 1998 |
| | 相模貝類同好会 | 『貝の和名 会報「みたまき」特別号』 | 1997/05 |
| | 横須賀市教育委員会 | 『吉井城山』 | 1999/03 |
| | | 『伝福寺裏遺跡』 | 1999/03 |
| | | 『長浜ノ上遺跡』 | 1999/03 |
| | 横須賀市自然・人文博物館 | 『埋蔵文化財発掘調査概報集Ⅶ —平成9年(1997)度分—』 | 1999/03 |
| | | 『横須賀市博物館資料集 第24号 1999年3月』 | 1999/03 |
| | | 『横須賀市博物館研究報告 (人文科学) 第43号 1998年12月』 | 1998/12 |
| | | 『横須賀市博物館研究報告 (自然科学) 第46号 1999年3月』 | 1999/03 |
| | | 『横須賀市 博物館報 No.45』 | 1998/09 |
| | 横須賀市人文博物館 | 『考古資料図録14 1999』 | 1999/03 |
| 厚木市 | 厚木市教育委員会 | 『厚木の古墳』 | 1998/03 |
| | | 『星野日記 大正十五年～昭和五年 明治十八年(追加分)(農業日誌)』 | 1998/12 |
| | | 『厚木の民俗 10 食生活2』 | 1999/03 |
| | 厚木市郷土資料館 | 収蔵資料展 『町場のくらしと民具 ～ちよつと昔の厚木町～』図録 | 2000 |
| | | 特別展 『出開帳』図録 | 1999 |
| | | 収蔵資料展 『和田家の文書 —歴史を伝える資料—』図録 | 2000 |
| | 厚木市文化財協会 | 『厚木市文化財協会会報 阿夫利』 第11～13号 | 1998～1999 |
| | | 『あつぎの河原石』 | 1999/03 |
| | 神奈川県立自然保護センター | 『神奈川県立自然保護センター報告 第16号 平成11年』 | 1999/03 |
| | 県央史談会 | 『県央史談 第17号』 第17～19, 21, 24, 25, 27, 28, 30, 32～39号 | 1978～2000 |
| 綾瀬市 | 綾瀬市 | 『綾瀬市史 6 通史編 中世・近世』 | 1999/03 |
| | | 『綾瀬村事務報告書』 | 1999/10 |
| | | 『綾瀬市史研究 第6号』 | 1999/03 |
| | | 『綾瀬市史新聞記事目録 第4集』 | 1999/09 |
| | | 『蓼川・本蓼川の民俗』 | 1999/03 |
| | | 『市史だより 第23号』 | 2000 |
| 海老名市 | 海老名市教育委員会 | 特別展 『明治の文書で綴る ～えびな米ものがたり～』図録 | 1999 |
| | 海老名市郷土資料館「海老名市温故館」 | 『えびなむかしばなし』 第1～4集 | 1986/11 |
| | | 『温故館だより No.35』 | 2000 |
| 相模原市 | 相模原市教育委員会 | 『さがみはらの民俗芸能 第20号』 | 1999/03 |
| | | 『相模原市No.76遺跡』 | 1999/03 |
| | | 『旧青柳寺庫裡復元修理工事報告書』 | 1999/03 |
| | | 『下九沢下作ノ口遺跡』 | 1998/02 |
| | | 『埋蔵文化財発掘調査概報集』 1997～1999 | 1997～1999 |

| | | | |
|-----|-----------------------------------|---|--|
| | 相模原市立相模川ふれあい博物館 相模原市立博物館 | 『相模原市文化財年報』平成10, 11年度 『下溝上谷開戸遺跡』 『相模川ふれあい科学館だより No.15』 特別展 『描かれた農耕の世界』図録 『相模原市立博物館 NEWS』Vol. 14~17 『相模原市立博物館研究報告 第8集』 『大島地区の自然と文化』 『地図資料目録Ⅰ 相模原市作成の地図』 『博物館資料調査報告書 大島地区の自然と文化』 | 1999 1998/03 2000 1999 1999-2000 1999/03 1999/03 1999/03 1999/03 |
| 座間市 | 座間市教育委員会 | 『座間むかしむかし 第二十一集』 | 1999/03 |
| 大和市 | 大和市教育委員会 | 『まんが大和の歴史 第一巻 (先土器時代)』 『まんが大和の歴史 第三巻 (奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代)』 『写真集 大和写真館』 『大和市の脊椎動物』 『大和の絵馬』 『大和市文化財調査報告書』第4, 10, 20集 『大和市文化財調査報告書 第16集 福田礼/辻遺跡採集の石器・ 目黒川東岸遺跡採集の資料』 『大和市文化財調査報告書 第1集 上野遺跡・浅間神社西側横穴墓群』 『一般国道246号線(大和厚木バイパス)地域内遺跡発掘調査概報 原始時代の和』 『一般国道二四六号線(大和・厚木バイパス)地域内遺跡発掘調査報告 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (3冊分冊)』 『大和市No.210遺跡』 『大和市の民具2 一紡織一』 『下鶴間の旧小倉家住宅 主屋 解体調査編』 『大和写真館 2』 『埋蔵文化財の保管と活用のための 基礎的整理報告書2 一上和田城山遺跡篇一』 『下鶴間の長谷川家資料 総合調査報告書 目録編』 | 1990/09 1992/07 1992/03 1990/03 1987/03 1980-1985 1984/03 1978/07 1982/03 1983-1984 1999/03 1999/03 1998/10 1999/03 1999/03 1999/03 |
| 茨城県 | 東町立歴史民俗博物館 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 | 企画展 『朝日商豆 瓢箪仙人の来訪』図録 企画展 『常名台の古代のむら』図録 特別展 『内海の貝塚』図録 『神田遺跡』 『三夜原東遺跡 新堀東遺跡 壺杯清水西遺跡』 『前谷遺跡群 東原観音塚』 『六十塚遺跡』 『土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第5号1998(平成10年度)』 『茨城県土浦市 三芳古墳 東谷遺跡(2次)』 『茨城県土浦市 谷原門遺跡C地点 発掘調査報告書』 『茨城県土浦市 尻冷南遺跡』 『龍ヶ崎市史 近現代編』 | 1999 1999 2000 1999/03 1997/03 1998/03 1997/03 1999/10 1998/12 1999/10 1999/03 1993/03 |
| 栃木県 | 龍ヶ崎市教育委員会 小山市立博物館 | 企画展 『中世の祇園城』図録 企画展 『雷さまと風の神—くらしとお天気』図録 『博物館だより』No.29 『友の会ニュース』No.30 『小山市立博物館報 第16号 平成10年度版』 『小山市立博物館紀要 第6号 1998』 | 1999 1999 1999 1999 1999/09 1998/03 |
| 群馬県 | 北橋村教育委員会 | 『八崎の寄居・田尻遺跡』 『味噌野遺跡 Ⅲ』 『北橋村村内遺跡』VI~VII 『箱田遺跡群(上原・三角遺跡) 真壁諏訪遺跡』 | 1999/01 1999/03 1998-1999 1999/03 |
| 埼玉県 | さいたま川の博物館 埼玉県立博物館 鶴ヶ島市教育委員会 | 『かわはく』No.5~6 『平成11年度 要覧』 特別展 『さいたまの鉄道』図録 特別展 『ゆ ~お風呂の文化史~』図録 『資料館だより THE AMUSEUM』第100~103号 『紀要』24~25 『鶴ヶ島の石造物』 『鶴ヶ島市内遺跡 発掘調査報告書Ⅱ』 『一天狗遺跡 3次調査 発掘調査報告書』 『一天狗遺跡 X・Y・Z地点 発掘調査報告書』 『一天狗遺跡 J地点13区 発掘調査報告書』 『新右衛門遺跡 第7次調査 発掘調査報告書』 | 1999 1999/03 1999 2000 1999-2000 1999-2000 1998/03 1996/03 1998/03 1998/03 1999/03 1998/03 |

| | | | |
|--------------|----------------------------------|---|---------|
| | 『鶴ヶ島中学西遺跡 第2次調査』 | 1998/03 | |
| | 『当貫遺跡 発掘調査報告書』 | 1999/03 | |
| | 『ふみおか1 踏丘・史阜・文岡』 | 1999/03 | |
| | 『遺跡調査室年報 X 平成10年度』 | 1999/03 | |
| 千葉県 | 三芳町教育委員会生涯学習課 | | |
| | 立正大学熊谷校地内遺跡調査室 | | |
| | 我孫子市鳥の博物館 | 企画展 『手賀沼の鳥—数から見た鳥のくらし—』図録 | 1999 |
| | | 企画展 『鳥の形とくらしⅢ—つばさと飛行—』図録 | 1998 |
| | | 『我孫子市鳥の博物館調査研究報告 第6巻』 | 1997 |
| | | 『我孫子市鳥の博物館報 第8号 平成9年版』 | 1998/09 |
| | | 『鳥の渡りの謎—旅する鳥たちのふしぎ—』 | 1996/03 |
| | | 『多様な鳥たち—鳥類の分類を考える—』 | 1995/05 |
| | | 『縮刷版 あびこ鳥だより 創刊号～第15号』 | 1996/03 |
| | | 『我孫子市鳥の博物館調査研究報告 第7巻 1999年3月』 | 1999/03 |
| | | 『我孫子市鳥の博物館報 第9号 平成10年度版』 | 1999/09 |
| | 伊能忠敬記念館 | 『伊能忠敬記念館年報 第1号』 | 1999/12 |
| | 国立歴史民俗博物館 | 企画展 『新弥生紀行』図録 | 1999 |
| | | 特別企画 『伝統の朝顔』図録 | 1999 |
| | 企画展示 『江戸モード大図鑑』図録 | 1999 | |
| | 企画展示 『地鳴り山鳴り 民衆のたたかい300年』図録 | 2000 | |
| | 『国立歴史民俗博物館研究報告 日本古代印の基礎的研究 第79集』 | 1999/03 | |
| 佐原市教育委員会 | 『平成9年度 佐原市内遺跡発掘調査概報』 | 1999/03 | |
| 市立市川考古博物館 | 『市立市川考古博物館 研究紀要 第1号』 第1～2号 | 1997-1998 | |
| | 『市立市川考古博物館年報』 第24～26号 | 1998/01 | |
| | 『向台貝塚資料図譜』 | 1999 | |
| | 『市川自然博物館だより』 第56～60号 | 1999 | |
| | 『平成9年度 市立市川自然博物館年報(年報No.9)』 | 1999/03 | |
| | 『市立市川歴史博物館年報 第16号 平成9年度』 | 2000 | |
| 袖ヶ浦市郷土博物館 | 特別展 『陸運 水運20世紀—東京湾をめぐる交通事情』図録 | 1999/03 | |
| | 『袖ヶ浦市郷土博物館 展示解説書』 | 1998-1999 | |
| 館山市立博物館 | 『ミュージアム発見伝』 No.62～63 | 1999/03 | |
| 千葉県立中央博物館 | 『研究報告 人文科学 第6巻 第1号』 | 2000 | |
| 千葉市立加曾利貝塚博物館 | 平成11年度企画展 『長崎県の貝塚と遺跡』図録 | 1999/03 | |
| | 『貝層の研究 I』 | 1999/03 | |
| | 『貝塚博物館紀要』 第26～27号 | 1998-2000 | |
| 流山市立博物館 | 『年報』 No.20～21 | 1999 | |
| 松戸市立博物館 | 特別展 『貝塚を考える』図録 | 1999 | |
| | 『まつどミュージアム No.7』 | 1999/03 | |
| | 『松戸市立博物館紀要 第6号』 | 1999/03 | |
| | 『松戸市旧宿場町 建築物調査報告書』 | 1999/03 | |
| | 『松戸市立博物館年報 第6号(1998)』 | 1999/06 | |
| 山武考古学研究所 | 『山武考古学研究所年報 No.17』 | 1999/03 | |
| 東京都 | (財)日本博物館協会 | 『第46回 全国博物館協会報告書—平成10年度』 | 1999/03 |
| | | 『博物館指導員研究協議会報告書 平成10年度』 | 1981/12 |
| | (財)宮本記念財団 | 『(財)宮本馨太郎記念財団収蔵民俗資料及び下町の民俗調査報告書 昭和55年度』 | 1984/09 |
| | | 『(財)宮本記念財団所蔵民具資料及び旧下谷地区池之端七軒町の調査報告書 昭和57年度』 | 1983/03 |
| | | 『旧下谷地区池之端七軒町の調査報告書 昭和56年度』 | 1997/06 |
| | (有)吾妻考古学研究所 | 『川崎市多摩区 長尾台北遺跡発掘調査報告書』 | 1996/12 |
| | | 『川崎市宮前区 三荷座前遺跡第1地点発掘調査報告書』 | 1997/06 |
| | | 『川崎市宮前区 三荷座前遺跡第2地点発掘調査報告書』 | 1996/10 |
| | | 『川崎市高津区 薬師院裏遺跡発掘調査報告書』 | 1997/08 |
| | | 『川崎市麻生区 黒川地区遺跡群報告書Ⅷ』 | 1999 |
| | 板橋区立郷土資料館 | 文化財速報展 『下板橋宿 中宿名主・飯田家資料展』図録 | 1999 |
| | | 『みどりと文化の交流展 栗山村—その自然・歴史・民俗・文化』 | 2000 |
| | | 特別展 『石田収蔵 謎の人類学者の生涯と板橋』図録 | 1999/09 |
| | | 『板橋区立郷土資料館年報 第12号 平成10年度版』 | 1999/12 |
| | 『板橋区立郷土資料館紀要 第12号』 | 1999/11 | |
| | 『東京都板橋区小茂根小山遺跡 第2地点』 | 1999/05 | |
| 東京都江戸東京博物館 | 『江戸東京博物館要覧 1999』 | 1999 | |
| 大田区立郷土博物館 | 特別展 『麦わら細工の輝き』図録 | 1997 | |
| | 特別展 『ミクロネシア—南の島々の航海者とその文化』図録 | 1985 | |
| | 特別展 『大田の職人—その道具と造形』図録 | 1988 | |
| | 特別展 『写された明治の東京』図録 | 1992 | |
| | 特別展 『室生犀星文学アルバム』図録 | 1984 | |

| | | |
|-----------------|---|-----------|
| | 特別展 『描かれた大田区—絵画にみる郷土の姿—』図録 | 1982 |
| | 特別展 『くらしとあかり』図録 | 1994 |
| | 特別展 『工場まちの探検ガイド』図録 | 1996 |
| | 特別展 『大田区の船大工—海苔の船を造る—』図録 | 1995 |
| | 特別展 『明治時代の水産絵図』図録 | 1999 |
| | 特別展 『よみがえる大田区の風景』図録 | 1993-1997 |
| | 『郷土博物館だより』 第28, 36号 | 1996-1999 |
| | 『博物館ノート』 No.85~108 | 1999/05 |
| | 『復刻版 博物館ノート No.51~No.100』 | 1999/03 |
| | 『馬込文士村 ガイドブック —改定版—』 | 1994/03 |
| | 『紀要 第9号 1998年度』 | 1988/03 |
| | 『大田区立郷土博物館 収蔵品目録 考古部門資料目録(1) —西岡秀男コレクション—』 | 1996/03 |
| | 『紀要 第4号 1993年度』 | 1992/02 |
| | 『復刻版 博物館ノート No.1~No.50』 | 1992/02 |
| | 『ぼくと私の郷土博物館』 | 1988/03 |
| | 『改定版 郷土博物館利用の手引き』 | 1993/05 |
| | 『ガイドブック セーラムの歴史 日米友好のかけ橋となった街』 | 1993/03 |
| | 『大田区 海苔物語』 | 1992/02 |
| | 『写された大田区 —懐かしい・まちとくらし—』 | 1990/09 |
| | 『私たちのモース 日本を愛した大森貝塚の父』 | 1997/03 |
| | 『大昔の大田区 原始・古代の遺跡ガイドブック』 | 1992/11 |
| | 『大田区 古墳ガイドブック —多摩川に流れる古代のロマン—』 | 1991/02 |
| | 『馬込文士村 散策マップⅡ』 | 1996 |
| | 『考古資料絵はがき —縄文時代遺物編—』 | 1994 |
| | 『国指定重要有形民俗文化財 大森及び周辺地域の海苔生産用具 解説絵はがき』 | 1995/03 |
| | 『重要有形民俗文化財 大森及び周辺地域の海苔生産用具』 | 2000/02 |
| | 『博物館実習報告 第15号 (1999年度版)』 | 1999/06 |
| | 『外交資料館報 第13号 平成11年6月』 | 1999/05 |
| | 『'97 身近な生きもの調査 —調査結果—』 | 1999-2000 |
| | 『儀礼文化ニュース』 第107~112号 | 1997 |
| | 特別展 『日本国憲法と議会政治の歩み』図録 | 1999 |
| | 『コクヨ ミュージアムレポート テオリア Vol. 8』 | 1999 |
| | 企画展 『藍ふたたび』図録 | 1999 |
| | 特別展 『東海道・品川宿を駆け幕末維新』図録 | 1997/03 |
| | 『品川区立品川歴史館年報』 第6~7号 | 1996/03 |
| | 『品川歴史館資料目録 三田用水普通水利組合文書』 | 1998/03 |
| | 『品川歴史館資料目録 民俗資料編(二) 建具・指物師の道具』 | 1999/03 |
| | 『品川歴史館紀要 第14号』 | 2000/02 |
| | 『ユネスコ世界遺産年報 2000 No.5』 | 2000/03 |
| | 『所蔵資料翻刻集 第四集 「酒茶多葉粉口論」「酒煙艸の合戦」』 | 1999/03 |
| | 『都市・近郊の信仰と遊山・観光 交流と変容』 | 1999-2000 |
| | 『東海道ネットワーク』 第81~86号 | 1999 |
| | 『江戸東京博物館 NEWS』 第32~34号 | 1998-1999 |
| | 『かたりべ』 No.50~53 | 1999/03 |
| | 『豊島区立郷土資料館年報 第13号 1997年度』 | 1999/04 |
| | 『日本民俗学会50周年記念シンポジウム 老い—その豊かさを求めて』 | 1999/11 |
| | 『Yokohamaびあ』 | 1999 |
| | 『歴史とふれあい 現代に活かすために』 | 1999 |
| | 『資料館だより』 第39~41号 | 1999/09 |
| | 『港郷土資料館 館報 —17— 平成10年度版(1998年度版)』 | 1999-2000 |
| | 『文部広報』 第1006~1018号 | 2000/04 |
| | 『Seven Seas APRIL2000 No.140』 | 1999 |
| | 『ミュージアム・データ』 No.44~47 | 1999/12 |
| | 『カルチベイト 第11号』 | 1998-1999 |
| | 『文環研レポート 第12号』 | 1999 |
| | 『江戸東京たても園』 第13~14号 | 1999/03 |
| | 『東京都青梅市 竹の下遺跡』 | 1999 |
| | 特別展 『くにたちを愛した山口瞳』図録 | 2000 |
| | 平成11年度企画展 『江戸近郊の鋳物師』図録 | 1999/09 |
| | 『くにたち郷土文化館年報 第3号 平成10年度』 | 2000/01 |
| | 『くにたち郷土文化館 研究紀要 No.2』 | 1999-2000 |
| | 『調布の文化財』 第25~27号 | 1999-2000 |
| 御茶の水女子大学 学芸員課程 | | |
| 外務省外交資料館 | | |
| 環境庁自然保護局 | | |
| 儀礼文化学会 | | |
| 憲政記念館 | | |
| コクヨ(株) | | |
| 次太夫堀公園民家園 | | |
| 品川区立品川歴史館 | | |
| 社団法人 日本ユネスコ協会連盟 | | |
| たばこと塩の博物館 | | |
| 地方史研究協議会 | | |
| 東海道ネットワークの会 | | |
| 東京都江戸東京博物館 | | |
| 豊島区立郷土資料館 | | |
| 日本民俗学会 | | |
| びあ(株) | | |
| 文化庁 | | |
| 港区立 港郷土資料館 | | |
| 文部省大臣官房 | | |
| (株)アルク | | |
| (株)丹青研究所 | | |
| (株)文化環境研究所 | | |
| 江戸東京たても園 | | |
| 青梅市郷土資料室 | | |
| くにたち郷土文化館 | | |
| 調布市郷土博物館 | | |

| | | | |
|------------|----------------------|---|---|
| | 東京学芸大学教育学部 | 『郷土博物館だより』 No.55～57 | 1999/03 |
| | 東京家政学院 生活文化博物館 | 『研究紀要 付・博物館実習報告 1998年度 第4号』 特別展 『もうひとつの和紙—糸・布・衣—』図録 | 1998 1999/03 |
| | 東京都埋蔵文化財センター | 『東京家政学院 生活文化博物館 年報 第7・8合併号』 『多摩ニュータウン遺跡 先行調査報告』 12～14(第1～4分冊) | 1999/03 1999 |
| | 府中市郷土の森博物館 | 『あるむぜお』 第47～50号 特別展 『和銅開珎』図録 『郷土の森プラネタリウム 第50号』 『府中市郷土の森 紀要 第12号』 『府中市内家分け古文書目録2 上染屋 村野家文書目録』 『年報 第11・12号(平成8・9年度)』 | 1999 1999 1999/03 1999/03 1999/03 1999 |
| | 福生市教育委員会 | 『福生歴史物語』 『福生市郷土資料室年報』 18～19 『福生市文化財総合調査報告書第30集 森田家旧蔵製糸関係等資料目録』 | 1999～2000 2000/03 2000/02 |
| 長野県 | (財)藤村記念館 駒ヶ根市立博物館 | 『図録 島崎藤村』 『昭和57年度 駒ヶ根市誌編さん紀要 江戸時代の駒ヶ根 I』 『昭和58年度 駒ヶ根市誌編さん紀要 江戸時代の駒ヶ根 II 附・地頭中沢氏の動向について』 『昭和59年度 駒ヶ根市誌編さん紀要』 第3～5集 『駒ヶ根市の石造文化財』 『駒ヶ根市誌 古代・中世編、別編年表』 『駒ヶ根市誌 近世編 I』 I～II 『駒ヶ根市誌 現代編 上巻』 企画展 『戦争と諏訪の人々の暮らし』図録 『常設展示ガイドブック』 『平成2・3年度 諏訪市博物館年報』 『平成6年度 諏訪市博物館年報』 平成6～8年度 『御柱祭展写真集 —御柱とともに—』 『諏訪市50周年記念写真集 なつかしのあの頃』 『平成9年度 諏訪市博物館年報』 『紀要 第8号<自然部門> 平成10年度』 『藤村記念館だより』 第90～93号 『信州の昭和史シリーズ⑦ 木曾の昭和史』 | 1984/12 1983/12 1984/12 1986～1997 1990/03 1989/03 1979～1992 1996 1991/03 1992/03 1995～1997 1992/03 1992/03 1998/08 1999/03 1999～2000 2000/03 1996/03 |
| | 諏訪市博物館 | 『多治見市文化財保護センター 研究紀要 第2号』 『西坂遺跡B地点(第五次) 発掘調査報告書』 『虎溪山1号古墳 発掘調査報告書』 『多治見市埋蔵文化財 発掘調査報告書』 『酒井ヶ峯1・2号窯 発掘調査報告書』 『多治見市文化財保護センター研究紀要 第5号 —市所蔵陶磁図録—』 『自然と人と文化』 No.15 | 1997/03 1996/03 1996/03 1999 1999/03 1999/03 |
| 岐阜県 | 多治見市教育委員会 | 『静岡県立美術館ニュース アマリリス』 No.53～56 『1999年 新収蔵品目録』 『登呂の弥生人7 体験して学ぶ古代農村の暮らし—』 『静岡市立登呂博物館館報9 —平成10年度—』 『沼津市歴史民俗資料館』 第144号 『浜松市博物館情報』 第83～94号 『浜松市博物館だより』 第65～68号 『浜松市博物館報 第12号』 『博物館資料集 9 近代の織物 —遠州の織物の歴史—』 企画展 『志太の大絵馬』図録 企画展 『志太の雛人形』図録 『藤枝市文化財年報 —平成9年度—』 『舞阪太鼓まつり』 『舞阪町史総目次』 『舞阪町役場 昭和5年行幸関係綴文書目録』 『焼津市歴史民俗資料館 年報13』 | — 1999/09 1999/06 1999 1999～2000 1999～2000 1999/10 2000/02 1999 2000 1999/03 1999/03 2000/03 2000/03 2000/01 1999 |
| 静岡県 | 静岡県立美術館 | 『焼津市歴史民俗資料館 年報13』 | 1999 |
| | 静岡市立登呂博物館 | 企画展 『三河土人形』図録 企画展 『写された幕末・明治・石黒コレクション』図録 『博物館ニュース』 No.34～35 『風伯』 第32～35号 『動物の旅展』図録 『二川宿総合調査報告書 町並、建築物編・地理編・民俗編・文献資料編』 | 2000 1999～2000 1999/03 1999 1999/03 1999 |
| | 沼津市歴史民俗資料館 | | |
| | 浜松市博物館 | | |
| | 藤枝市郷土博物館 | | |
| | 舞阪町立郷土資料館 | | |
| | 焼津市歴史民俗資料館 | | |
| 愛知県 | 安城市歴史博物館 | | |
| | 豊橋市美術博物館 | | |
| | 豊橋市二川宿本陣資料館 | | |

| | | | |
|-----|---|--|-----------|
| 三重県 | 亀山市歴史博物館 | 『広重の世界 ～狂歌入り東海道～』 | 1999-2000 |
| | | 企画展 『近世「のぼり」考』図録 | 1999 |
| | | 『亀山市歴史博物館たより』 第15～16号 | 1999 |
| | | 『亀山市歴史博物館年報』 第4～5号 | 1999/03 |
| 新潟県 | 十日町市博物館 | 『神宮の博物館』 | 1999/03 |
| | | 『藤原岳自然科学館館報 藤原岳 第21巻 1998年度号』 | 1999/08 |
| 滋賀県 | 大津市歴史博物館 草津市教育委員会 | 『図録 笹山遺跡』 | 1999 |
| | | 『大津歴博だより』 No.37～38 | 1999/03 |
| 京都府 | 京都橘女子大学文学部文化財学科 舞鶴市立赤れんが博物館 ㈱京都科学 | 『草津宿本陣田中家 歴史資料調査報告書Ⅱ (祿・調度編)』 | 1999/03 |
| | | 『草津川改修関連遺跡 発掘調査概要報告書 XⅢ』 | 1998-1999 |
| | | 『平成8年度 草津市文化財年報』 平成8～9年度 | 2000 |
| | | 『文化財学科ニューズ・レター No.2』 | 1999 |
| 大阪府 | 大阪市立自然史博物館 | 『赤れんが博物館だより』 No.21～24 | 1999-2000 |
| | | 『Museum Works』 Vol. 5～6 | 2000 |
| | | 企画展 『海をわたった蝶と蛾 ～アジアの鱗翅類～』図録 | 1999/03 |
| | | 『自然史研究 Vol.2 No.15』 | 1999/03 |
| | | 『大阪自然史博物館収蔵資料目録第31集 コダイアマモの化石 —三木茂教授コレクション』 | 1999/03 |
| | | 『大阪市立自然史博物館研究報告 53号』 | 1999/03 |
| | | 『花の万博出展植物標本作成事業』 | 1999 |
| | | 『大阪市立自然史博物館館報』 23～24号 | 1993/03 |
| | | 『ミニガイドNo.10 花粉』 | 1999/03 |
| | | 『ミニガイドNo.17 干潟に棲む動物たち』 | 1999/03 |
| 兵庫県 | 神戸市立博物館 | 『ミニガイドNo.16 大阪のテントウムシ』 | 1999-2000 |
| | | 『博物館だより』 No.64～67 | 2000 |
| 愛媛県 | 愛媛県総合科学博物館 愛媛県歴史文化博物館 | 『博物館だより No.21』 | 1999 |
| | | 企画展 『海道をゆく—江戸時代の瀬戸内海』図録 | 2000 |
| | | テーマ展 『これ、なあに?—ナゾの形は工夫の形』図録 | 1999-2000 |
| | | 『歴博だより』 第17～21号 | 1999/03 |
| | | 『年報 平成10年度』 | 1999/03 |
| | | 『佐田岬半島の仕事着(裂織)』 | 1999/03 |
| | | 『菊山隆氏所蔵資料 —陶不? 次郎関係資料—』 | 1999/03 |
| | | 『研究紀要 第4号』 | 1999/03 |
| | | 『理正院文書・日野家文書目録』 | 2000/02 |
| | | 『愛媛県歴史文化博物館資料目録 第6集 西条藩松平家の雛と雛道具』 | 1981/03 |
| 広島県 | ㈱熊平製作所 | 『抜萃のつどり その五十九』 | 1992/03 |
| 山口県 | 下関市市史編集委員会 | 『下関市史 民俗編』 | 2000/03 |
| 北海道 | (財)アイヌ文化振興・研究推進機構 (財)アイヌ民族博物館 | 『第3回 アイヌ語弁論大会報告書 イタカン ロー』 | 1998-1999 |
| | | 『アイヌ民族博物館だより』 No.40～42 | 1998/03 |
| | | 『アイヌ民族博物館研究報告 第6号』 | 1999/03 |
| | | 『川上まつ子の伝承 —植物編』 | 1999/07 |
| | | 『'99 要覧』 | 1199/03 |
| | | 『北海道文化成立にかかわる母県文化の継承と変容(Ⅱ)』 | 1999/03 |
| 青森県 | 帯広百年記念館 | 『帯広百年記念館紀要 第17号』 | 1999 |
| 岩手県 | 青森県立郷土館 北上市立博物館 前沢町立 牛の博物館 | 特別展 『至高の縄文祭祀芸術—注口土器と土偶—』図録 | 1999 |
| | | 特別展 『北の下駄』図録 | 1999 |
| 福島県 | 磐梯町立磐梯山慧日寺資料館 | 『牛のはくぶつかん』 第12～13号 | 1997-1999 |
| | | 『モコ通信』 第12～14号 | 2000 |
| | | 『史跡慧日寺跡』 XⅡ～XⅣ | |

文化財

■文化財専門委員

<委員の構成> 任期：平成11年7月1日～平成13年6月30日

- ・和田 正洲 学識経験者
- ・神沢 勇一 学識経験者
- ・稲葉 和也 大学助教授
- ・三浦 勝男 学識経験者
- ・高橋 秀男 博物館学芸員
- ・薄井 和男 博物館学芸員

<委員会の開催>

- ・平成11年10月6日 平成10年度文化財事業の報告、町指定文化財について
- ・平成12年2月23日 平成11年度文化財事業の報告、平成12年度文化財事業の概要

■文化財保護

<文化財巡廻調査>

町内の県指定史跡・天然記念物の現状及び実態調査を実施した。

- (1) 史跡 釜口古墳 (No.78)、タレコ谷戸西横穴墓群 (No.53)
- (2) 天然記念物 大磯高麗山の自然林 (県指定)

<社寺建築調査>

慶覚院、高来神社の建造物の調査を社寺建築調査委員会に委託した。

<文化財の修繕>

町指定文化財の「国府新宿の梵鐘」について、堂全体の補修工事に対し、補助を行った。

<指定文化財新規指定>

町指定文化財として慶覚院の木造仁王立像 (平成11年10月28日指定) を新規に指定した。

<町指定文化財の保護>

町指定文化財の17件 (指定文化財一覧表16・17、20～33、35) に対し、管理奨励交付金を交付した。

<民俗文化財保護>

無形民俗文化財の大磯の左義長 (国指定)・国府祭 (県指定)・小磯の七夕祭 (県選択)・高麗の山神輿 (町指定)・大磯御船祭 (町指定)・白岩神社の歩射の以上6件に対し、民俗資料保存団体交付金を交付した。

<文化財の防火巡廻>

大運寺、慶林寺を消防署員と共に巡廻。消防設備点検・指導、消防水利の確認した。

<市町村広域事業>

平塚市、秦野市、伊勢原市、二宮町、大磯町の3市2町に存在する文化財について、パンフレット「中地区文化財めぐり」を作成し、文化財保護の啓蒙・啓発を行った。

■指定文化財一覧表

| 番号 | 種類 | 種別 | 数量 | 名称 | 所在地 | 所有者 | 住所 (電話番号) | 指定年月日 |
|----|-----|---------|------|--------------------|--------------------|----------------|-------------------------------------|-------------------|
| | | | | | | 管理者 | 住所 (電話番号) | 指定記号番号 |
| 1 | 国指定 | 彫刻 | 1 軀 | 木造薬師如来坐像 | 寺坂639 (王福寺) | 王福寺 湯口正毅 | 寺坂639(71-2101) " | 昭和2年4月25日 — |
| 2 | " | " | 1 軀 | 木造伝了源坐像 | 高麗1-7-7 (善福寺) | 善福寺 伊東孝昭 | 高麗1-7-7(61-1193) " | 平成4年6月22日 — |
| 3 | " | 工芸 | 1 口 | 灰釉壺 常滑 | 東小磯394 | 増田哲弥 | 東小磯394 | 平成6年6月28日 — |
| 4 | " | 無形民俗文化財 | — | 大磯の左義長 | | 左義長保存会 鈴木健治 | 大磯1556(61-3183) | 平成9年12月15日 — |
| 5 | 県指定 | 史跡 | 1 基 | 釜口古墳 | 字前谷原 | 大磯町 | 東小磯1838(61-4100) | 昭和29年3月30日 — |
| 6 | " | " | 20 基 | 楊谷寺谷戸横穴群 | 字楊谷寺谷戸 | 楊谷寺 樋口亮海 | 大磯910(61-2664) " | 昭和41年7月19日 — |
| 7 | " | " | 9 基 | 庄ヶ久保横穴群 | 国府本郷庄ヶ久保 | 加藤卯之八 | 国府本郷1335(61-2694) | 昭和41年7月19日 — |
| 8 | " | " | 37 基 | タレコ谷戸西横穴群 | 虫窪字タレコ谷戸 | 多田賢蔵 | 国府新宿103(72-0433) | 昭和41年7月19日 — |
| 9 | " | 無形民俗文化財 | — | 国府祭* | | 国府祭保存会 柳田直継 | 国府本郷935(71-3737) | 昭和40年10月1日 — |
| 10 | " | 天然記念物 | — | 大磯高麗山の自然林 | 高麗山南斜面 | 高来神社 渡辺幸五郎 | 高麗2-9-47(61-1146) " | 昭和47年3月31日 — |
| 11 | " | " | — | 鷹取神社の社叢林 | 生沢1401外 | 鷹取神社 柳田直継 | 生沢1401(71-3737) 国府本郷935(71-3737) | 平成4年2月14日 — |
| 12 | " | " | — | 大磯ヶ崎のアオバト集団飛来地 | 大磯1398-2地先 岩礁 | 大磯町 | 東小磯1838(61-4100) | 平成8年2月13日 — |
| 13 | " | 彫刻 | 1 軀 | 木造地藏菩薩坐像 | 高麗2-9-48 (慶覚院) | 慶覚院 秦良淳 | 高麗2-9-48(61-3814) " | 昭和49年7月12日 — |
| 14 | " | " | 1 軀 | 木造阿弥陀如来立像 | 高麗1-7-7 (善福寺) | 善福寺 伊東孝昭 | 高麗1-7-7(61-1193) " | 昭和57年8月31日 — |
| 15 | 県選択 | 無形民俗文化財 | — | 小磯の七夕祭り | | 七夕保存会 鈴木東一 | 西小磯248(61-0726) | 昭和53年8月25日 — |
| 16 | 町指定 | 古文書 | 2 通 | 地福寺文書2通 | 大磯1135 (地福寺) | 地福寺 櫻井密厳 | 大磯1135(61-1234) " | 昭和47年6月14日 1 |
| 17 | " | " | 1 通 | 二宮家文書 | 生沢899 | 二宮 康 | 生沢899(71-1091) | 昭和48年7月20日 9 |
| 18 | " | 無形民俗文化財 | — | 大磯御船祭 | | 御船祭保存会 真間直次 | 大磯1439(61-3938) | 昭和47年6月14日 6 |
| 19 | " | " | — | 高麗の山神輿 | | 山神輿保存会 高橋 昭 | 高麗2-6-35(61-0477) | 平成1年10月18日 25 |
| 20 | " | 天然記念物 | 1 株 | 社宮神のタブ | 国府新宿479 | 杉山吉永 | 鎌倉市笹目町6-49 (0467-22-5011) | 昭和47年6月14日 7 |
| 21 | " | " | 1 株 | 宝積院のカヤ | 国府新宿451 (宝積院) | 宝積院 鈴木哲夫 | 国府新宿451(71-0683) " | 昭和47年6月14日 8 |
| 22 | " | " | — | 六所神社の樹林 | 国府本郷935 (六所神社) | 六所神社 柳田直継 | 国府本郷935(71-3737) " | 昭和48年7月20日 10 |
| 23 | " | " | 1 株 | 諏訪神社の大松 | 国府本郷547 | 六所神社 柳田直継 | 国府本郷935(71-3737) " | 昭和48年7月20日 11 |
| 24 | " | " | — | 稲荷神社の樹林 | 東小磯406 | 高来神社 渡辺幸五郎 | 高麗2-9-47(61-1146) " | 昭和48年7月20日 13 |
| 25 | " | " | 1 株 | 高来神社の シイニッケイ | 高麗2-9-47 (高来神社) | 高来神社 渡辺幸五郎 | 高麗2-9-47(61-1146) " | 昭和48年7月20日 14 |
| 26 | " | " | " | 高麗ホルトノキ | 高麗2-542-28 | 堀 文子 | 高麗2-3-57(61-0875) | 平成1年12月19日 26 |
| 27 | " | 彫刻 | 1 軀 | 千手観音立像 | 高麗2-9-48 (慶覚院) | 慶覚院 秦良淳 | 高麗2-9-48(61-3814) " | 昭和47年6月14日 2 |
| 28 | " | " | 1 軀 | 木造阿弥陀如来座像 | 大磯1004 (大運寺) | 大運寺 二見光道 | 大磯1004(61-0823) " | 昭和51年7月17日 17 |
| 29 | " | " | 1 軀 | 木造弘法大師坐像 | 大磯1135 (地福寺) | 地福寺 櫻井密厳 | 大磯1135(61-1234) " | 昭和51年7月17日 18 |
| 30 | " | " | 1 軀 | 石造地藏菩薩立像 | 国府本郷513 (西長院) | 西長院 鈴木正明 | 国府本郷513(61-2402) " | 昭和51年7月17日 19 |
| 31 | " | " | 3 軀 | 木造聖観世音菩薩 及び二天立像 | 国府新宿767 (蓮花院) | 蓮花院 湯口敏昭 | 国府新宿767(71-0886) " | 昭和52年4月1日 20 |
| 32 | " | " | 1 軀 | 木造阿弥陀如来座像 | 寺坂732 (迎接院) | 迎接院 鈴木教夫 | 寺坂732 寺坂658(72-0574) | 昭和52年12月15日 21 |
| 33 | " | " | 1 軀 | 木造薬師如来立像 | 大磯910 (楊谷寺) | 楊谷寺 樋口亮海 | 大磯910(61-2664) " | 昭和52年12月15日 22 |
| 34 | " | " | 2 軀 | 木造仁王立像 | 高麗2-9-48 (慶覚院) | 慶覚院 秦良淳 | 高麗2-9-48(61-3814) " | 平成11年10月22日 38 |

| 番号 | 種類 | 種別 | 数量 | 名称 | 所在地 | 所有者 | 住所 (電話番号) | 指定年月日 |
|----|-----|-------|-----|-------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|
| | | | | | | 管理者 | | 指定記号番号 |
| 35 | 町指定 | 工芸 | 1口 | 国府新宿梵鐘 | 国府新宿451 (宝積院) | 国府新宿区有 鈴木哲夫 | 国府新宿451(71-0683) | 昭和47年6月14日 4 |
| 36 | 〃 | 考古資料 | 17点 | 大磯町出土考古資料 | 東小磯183 | 大磯町 教育委員会 | 東小磯183(61-4100) | 昭和47年6月14日 5 |
| 37 | 〃 | 〃 | 3点 | 馬場台遺跡出土品 | 東小磯183 | 大磯町 教育委員会 | 東小磯183(61-4100) | 平成3年9月20日 27 |
| 38 | 〃 | 重要建造物 | — | 鳴立庵 | 大磯1289 | 大磯町 教育委員会 | 東小磯183(61-4100) | 昭和58年7月1日 24 |
| 39 | 〃 | 〃 | 3棟 | 旧島崎藤村住宅 —静の草屋— | 東小磯88-9 | 大磯町 教育委員会 | 東小磯183(61-4100) | 平成6年12月21日 37 |
| 40 | 〃 | 史跡 | — | 鳴立澤 | 大磯1289 | 大磯町 教育委員会 | 東小磯183(61-4100) | 昭和58年7月1日 23 |

■埋蔵文化財

<出土品整理>

馬場台遺跡 28 地点の出土品整理を行った。

<保存処理>

坂田山横穴墓群の鉄製品を東都文化財保存研究所に委託した。

<史跡整備事業>

県指定史跡釜口古墳の草刈りを行った。

<事前相談>

相談件数は 28 件で個人住宅 14 件、宅地造成 9 件、店舗建設 2 件、配水池建設・携帯電話基地建設が各々 1 件であった。このうち、立ち会いを指導したものが 9 件、試掘確認調査を実施したものは 1 件であった。

<発掘調査等>

| | No.111 遺跡 | 堂後下横穴墓群 | 坊地遺跡 O 地点 |
|-------|--------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 遺跡の種類 | 遺物散布地 | 横穴墓 | 遺物散布地 |
| 調査期間 | 平成 11 年 5 月 31 日～6 月 3 日 | 平成 11 年 10 月 7 日～12 月 1 日 | 平成 12 年 2 月 8 日～24 日 |
| 所在地 | 大磯町国府新宿 780 他 | 大磯町国府本郷 2127-1 他 | 大磯町大磯 364-1 |
| 調査機関 | 大磯町教育委員会 | 堂後下横穴墓群発掘調査団 団長 杉山幾一 | 大磯町教育委員会 |
| 調査担当者 | 鈴木一男 (大磯町教育委員会生涯学習課) | 鈴木一男 (大磯町教育委員会生涯学習課) | 鈴木一男 (大磯町教育委員会生涯学習課) |
| 調査面積 | 28 m ² | 209 m ² | 18 m ² |
| 調査の原因 | 宅地造成 | 運動公園造成 | 宅地造成 |
| 発見遺構 | なし | 横穴墓 9 基 | 溝状遺構 1 条、土坑 3 基、 住所子址 6 軒以上 |
| 発見遺物 | 古式土師器、土師器 近世～近世陶磁器 | 土師器、須恵器、馬具、直刀、 刀子、鉄鏃、玉類 | 土師器、須恵器、陶磁器 |
| 遺跡の時期 | 奈良～近代 | 古墳時代 | 古墳時代、古代・中世・近現代 |
| 遺物の保管 | 大磯町教育委員会 | 大磯町教育委員会 | 大磯町教育委員会 |
| 文献名 | No.111 遺跡試掘確認調査概報 | 堂後下横穴墓群 (発掘調査概報) | 坊地遺跡試掘調査概報 |

町史編さん

平成3年度に始まった事業で、町の歴史の変遷過程を顧みて将来に向け、町民に親しまれる自治体史を順次刊行していく。11年度は前年に引続き、今後刊行する町史の編集作業を進めた。また、現存する当町に関する歴史資料の所在確認・収集に努めた。

■町史編さん組織体制



■町史編さん委員会

<会の概要>

- ・設置 大磯町史編さん委員会規則(平成2年9月12日規則第7号)町史編さんの基本方針などの審議及び総合調整を行った。町議会議員・学識経験者・町職員で構成。
- ・定数 15名以内・平成12年3月現在9名
- ・任期 2年間(平成11年4月1日～平成13年3月31日)

<委員会の開催>

- ・平成11年11月26日 委嘱状の交付、編さん事業の報告・計画について

■町史編集委員会

<会の概要>

- ・設置 大磯町史編集委員会規則(平成3年3月26日規則第6号)町史編さんの執筆・編集の調整を行った。各編集委員・顧問で構成。
- ・定数 10名以内・平成12年3月現在5名
- ・任期 3年間(平成9年4月1日～平成12年3月31日)

<委員会の開催>

- ・平成11年11月19日 各部会の編集進行状況、平成12年度予算の要求について
- ・平成12年3月24日 各部会の編集進行状況、平成12年度の予算概要と事業計画について

■部会

編集委員会は次の5部会から成る。すでに、自然部会は別編自然刊行の平成8年3月に解散した。

各部会は編集委員会に属し、それぞれの執筆委員・資料調査員が資料収集を行っている。編集委員は集められた資料をもとに執筆委員と共に担当する町史の執筆及び編集にあっている。部会の編成は時代と分野で分かれている。次に各部会の概略と担当した図書を記す(一覧表の書籍Noを【 】中に示す)。

<前近代部会>

古代〔紀元3～4世紀から平安時代まで〕中世〔鎌倉時代から小田原北条氏滅亡まで〕近世〔徳川家康の江戸入府から廃藩置県まで〕から成る。個人所蔵の文書資料調査は近現代部会と並行して実施し、町内58家の協力をえて、大半の資料をマイクロフィルムに収めることができた。【1・2】

<近現代部会>

近代〔足柄県成立から第二次世界大戦終了まで〕現代〔ポツダム宣言受諾から平成元年まで〕から成る。行政資料は主に昭和29年合併以前の大磯町・国府村資料の整理を行った。【3・18】

<自然部会>

動物・植物・地層・地質などの項目から大磯町の歴史をとらえ別編自然として編さんした。この別編は、おおむね3年間かけ、データ収集を行い刊行した。別編に掲載外のデータを自然データ集として発刊した。【4・17・19】

<民俗部会>

口頭で伝承される大磯町の生活や文化を別編民俗として編さんする。別編の編さんに先駆け、古老を中心に地域に残る言伝え、慣わし、年中行事などさまざまな事柄について聞き取り調査した結果を地区ごと整理し報告書として刊行した。【5・6・7・8・9】

<考古部会>

町内から出土した遺跡・遺物を考察し、別編考古として編さんする。郷土資料館には埋蔵文化財出土品が未整理のまま保存されており、主にそれら資料を整理、図化し考古学の観点から大磯の歴史を別編考古として刊行する。

■平成11年度刊行物とその概要

<大磯町史研究第七号>

掲載標題・執筆者 ㊦)中世都市大磯の様相 島崎直人 ㊧)金融恐慌後の中小商工業者救済資金散布とその償還過程 佐々木哲也 ㊨)大正期の中郡・大磯の選挙動向 木村広 ㊩)大磯町中央域における遺跡分布調査報告 近藤英夫 ㊪)南井戸窪横穴墓群実測調査報告 池上悟 ㊫)クモによる環境指標と大磯町のクモ相 池田博明

■町史刊行済書籍一覧

| No | 刊行年・月 | 書 籍 名 | 版 頁 |
|----|----------|-------------------------------------|--------|
| 1 | 平成 8. 3 | 大磯町史 1 資料編古代・中世・近世(1) | A5 820 |
| 2 | 平成 11. 3 | 大磯町史 2 資料編近世(2) | A5 750 |
| 3 | 平成 11. 7 | 大磯町史 3 資料編近現代(1) | A5 750 |
| 4 | 平成 8. 3 | 大磯町史 9 別編自然 | A5 790 |
| 5 | 平成 5. 3 | 大磯町史民俗調査報告書一 国府の民俗(一) 虫窪・黒岩・西久保 | B5 170 |
| 6 | 平成 6. 3 | 大磯町史民俗調査報告書二 国府の民俗(二) 月京・生沢・寺坂 | B5 194 |
| 7 | 平成 7. 3 | 大磯町史民俗調査報告書三 国府の民俗(三) 国府本郷・国府新宿・石神台 | B5 256 |
| 8 | 平成 9. 3 | 大磯町史民俗調査報告書四 大磯の民俗(一) 東小磯・西小磯 | B5 246 |
| 9 | 平成 10. 3 | 大磯町史民俗調査報告書五 大磯の民俗(二) 大磯・東町・高麗 | B5 244 |
| 10 | 平成 4. 3 | 大磯町史研究創刊号 | A5 90 |
| 11 | 平成 5. 3 | 大磯町史研究第二号 | A5 114 |
| 12 | 平成 6. 3 | 大磯町史研究第三号 | A5 106 |
| 13 | 平成 7. 12 | 大磯町史研究第四号 | A5 110 |
| 14 | 平成 9. 3 | 大磯町史研究第五号 | A5 108 |
| 15 | 平成 11. 3 | 大磯町史研究第六号 | A5 100 |
| 16 | 平成 12. 3 | 大磯町史研究第七号 | A5 98 |
| 17 | 平成 6. 3 | 大磯町内に分布する更新統二宮層産の化石 | B5 98 |
| 18 | 平成 7. 3 | 大磯町史新聞記事目録第一集 横浜貿易新報明治編 | B5 145 |
| 19 | 平成 9. 3 | 大磯町史 9 別編自然データ集 | B5 217 |

研 究 報 告

「草と木の調査」実施報告

北水 慶一

1. はじめに

大磯町郷土資料館は「湘南の丘陵と海」をテーマに事業を展開しており、テーマに即した資料の収集、整理、保管の他、展示活動、教育普及活動を実施している。ここでは教育普及活動、特に自然分野の活動について平成 11 年度の事業概要と共に紹介する。自然分野では平成 2 年度より自然観察会を実施している。内容としては毎回、テーマを決め、大磯の植物や動物、化石など文字通り観察するものであり、多くは単日日程で行っている。また、平成 2 年度、4 年度には住民参加型の調査「身近な生き物調査」、「セミのぬげがら調査」も実施している。平成 10 年 10 月に開館 10 周年を迎え、10 年を契機に郷土資料館全般の事業について検討を図った。単日日程で行う観察会は余暇を利用し、自分が興味のあることを学ぶことに対して気軽に参加できるという利点があるものの 1 日限りであり、十分な理解を得るところまで結びついていかない。したがって、1 年または期間を限定して継続してできる企画、また活動を通して資料館の資料づくりができる企画を進めるべく、本年度より「草と木の調査」と称し、身近な植物の知識を深めることを目的に連続講座を開始した。

2. 調査の目的と方法

(1) 調査の目的

大磯町での植物調査は、大磯町史執筆員である守矢淳一氏が、植物の種類と分布について調査をしている。しかしながら、本調査は、単に学術的に町域の植物の分布を調べるために設けたものではなく、植物に興味のある一般の方を対象に、身近な植物の分布状況を調べることを目的としたものである。一番には身近な自然を知ることであり、身近な植物を学ぶこと、季節の移り変わりをすることも含まれている。同様の調査としては、当館では、平成 2 年度身近な生き物調査で「春の植物」、「タンポポ」、「秋の植物」として取り上げ調査をしている。実際に企画を進めるにあたり、担当者として、1 年を通して実施するにはデータ、知識ともに不十分であり、短期の一定期間という

ことで試行的に企画を進めることとした。したがって、平成 11 年度は、秋の植物を対象に町内での分布状況の調査を行っている。本調査では多くの点で平成 2 年度に行った身近な生き物調査「秋の植物」を参考にしている。参考とした理由として、平成 2 年度からおおよそ 10 年経過した中での分布の変化を確認したいという意図も含まれていた。

(2) 調査対象の地域

調査対象の地域は、旧大磯町（昭和 29 年、大磯町、国府町合併前の旧大磯町域：高麗・東町・大磯・東小磯・西小磯）。東側には大磯丘陵を代表する山の一つ高麗山があり、連なって湘南平がある。地域の北側は、大磯丘陵の山々があり、南側には相模湾が広がっている。海岸線には、国道 134 号線、平行して国道 1 号線が走っている。主として国道 1 号線沿いを中心に商店、住宅が密集している。

(3) 調査対象の植物

調査対象の植物は、初秋から晩秋に開花する植物、秋に特徴的な果実を結実する植物であり、「大磯町史 9 別編 - 自然 - 」、「神奈川県植物誌 1988」を参考に植物種を取り上げた。植物は以下の 15 種である。

ミズヒキ、カラスウリ、キカラスウリ、オミナエシ、ヒガンバナ、セイタカアワダチソウ、アケビ、ミツバアケビ、センダングサ、アメリカセンダングサ、タウコギ、コセンダングサ、キクアザミ、タイアザミ、タムラソウ

ミズヒキ、カラスウリ、オミナエシ、ヒガンナ、セイタカアワダチソウ、アケビについては、平成 2 年度の身近な生きもの調査の対象植物であり、10 年の経過によっての分布の変化をみることを目的とし、キカラスウリ、ミツバアケビは、先に示したものの近縁種として種間における分布の比較、センダングサ、アメリカセンダングサ、タウコギ、コセンダングサは、センダングサ類の種間の分布を比較、タイアザミ、キクアザミ、タムラソウはアザミ類の種間の分布の比較のため、それぞれ取り上げている。

(4) 講座（調査の期間）

調査参加の呼びかけは大磯町広報「広報おおいそ7月号」で行った。ガイダンス、調査、まとめの日程は次に示すとおりである。

- ・参加者募集 7月1日～7月31日
- ・ガイダンス 8月22日
- ・調査 9月26日、10月24日、11月28日
- ・調査まとめ 12月11日、12月12日

(5) 調査の仕方

調査は、1班3名に分かれ、班毎に調査を進めた。但し、班のメンバーは、多くの人と触れ合う機会を設けるため、毎回交代し、同じメンバーにならないようにした。1回に歩く距離は、1班約4km。大磯駅、大磯町郷土資料館を出発点として、同地点が終着点になるように巡回した(図1、2、3)。毎回歩く場所は、郷土資料館で指定し、当日朝に資料を配布した。コースは主に宅地から丘陵を目指して歩くように設定した。

調査表には、大磯町発行の「大磯全図（1万分の1）」を使用。大磯町全体を21分割し、添付した調査表を本調査のため作成した(図4)。

調査では、決められたコースを歩き、調査対象の植物があった所に地図上にポイントを落としていった。また、調査した場所についての環境、植生状況など特記すべき状況について記入できるようにした。

(6) 調査のまとめ

12月11日、12日の2日間で調査のまとめを行った。データを班毎に整備し、その後、種類ごとに一つの地図に点を落としていった。

(7) 草と木の調査参加者

「広報おおいそ」での募集により、大磯町在住の10名が本調査に参加した。

中村智砂子、曾根ハツエ、原美智子、野口香織、則友忠、則友圭子、楠本敬子、井上健三、渡辺富子、北水慶一

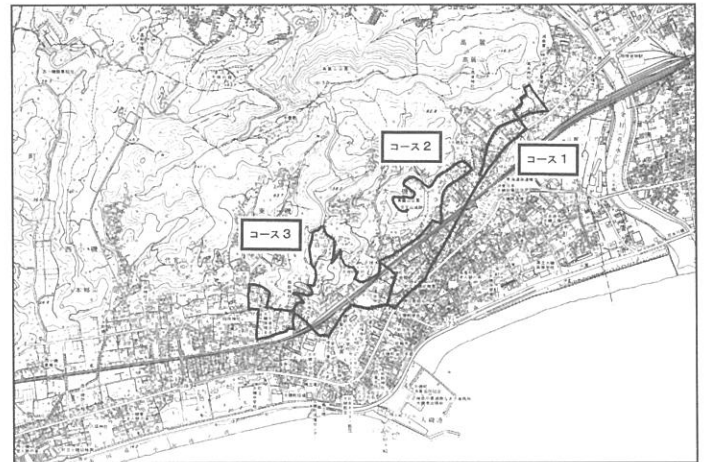


図1. 9月26日のコース

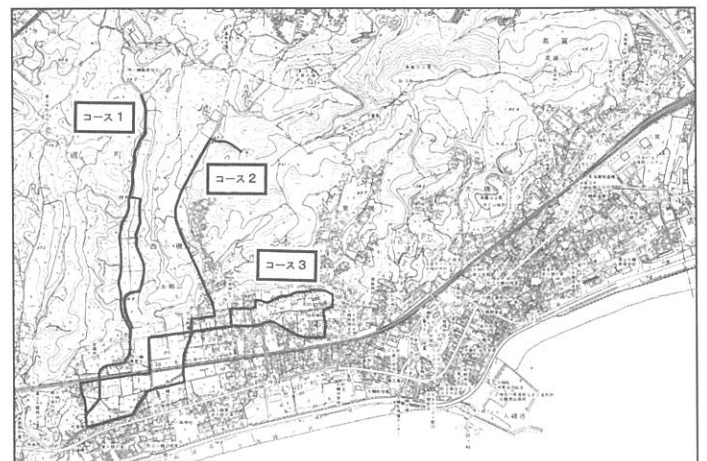


図2. 10月24日のコース

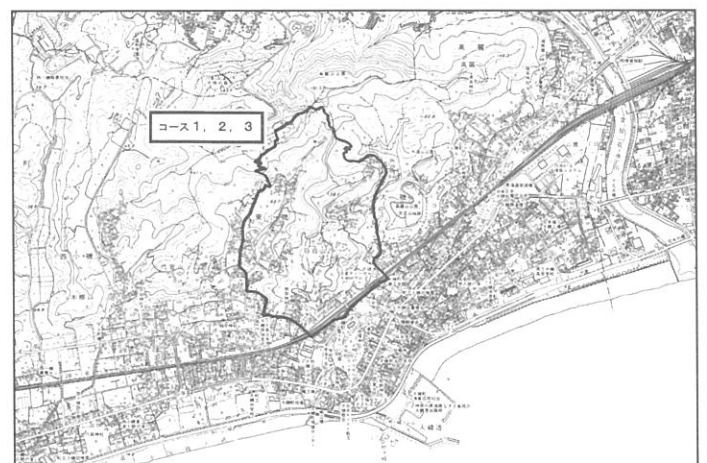


図3. 11月28日のコース

図4. 調査表

3. 調査の結果

(1) 各種の分布の状況

各種の分布状況及び所見は以下に示すとおりである。

1. ミズヒキ

Polygonum filiforme Thunb.

丘陵地で日陰となる場所でよく確認できた。8月末から11月末までと長い期間、花を見ることができた。(分布図は図5)

2. カラスウリ

Trichosanthes cucumeroides (Ser.) Maxim.

10月、11月頃に丘陵地で多く確認できた。主として、朱色の実と葉の形状を同定のポイントとした。(分布図は図6)

3. キカラスウリ

Trichosanthes Kirilowii Maxim. var. *japonica* (Miq.) Kitam.

黄色の実と葉の形状を同定のポイントとしたが、実を付けていないものは、見つけるのが非常に難しく本調査では、1点しか確認できなかった。確認したものは黄色の実を付けたものであった。十分な結果が得られていないため分布図を載せていない。

4. オミナエシ

Patrinia scabiosaefolia Fisch.

平成2年度の身近な生き物調査では、大磯町域では確認されておらず、本調査でも同様に全く確認できなかった。

5. ヒガンバナ

Lycoris radiata Herb.

調査を始めた頃は、花をよく見ることができたが、次第に葉ばかりを目に付くようになった。調査対象地域では全域に渡り比較的よく確認できた。特に住宅地でよく見ることができた。(分布図は図7)

6. セイタカアワダチソウ

Solidago altissima L.

高麗山の山頂付近を除いては、調査対象地域全域で非常によく確認することができた。本調査で一番よく目に付いた植物である。(分布図は図8)

7. アケビ

Akebia quinata (Thunb.) Decaisne

丘陵地、住宅地ともによく目に付いた。葉を見かけることは非常に多かったが、実を見かけることはほとんどなかった。(分布図は図9)

8. ミツバアケビ

Akebia trifoliata (Thunb.) Koidzumi

アケビと同様に実を見ることはほとんどなかったが、葉は比較的よく見かけた。アケビよりも数は少ないようだった。分布の状況はアケビとよく似ていた。(分布図は図10)

9. センダングサ

Bidens biternata (Lour.) Merr. et Sherff

黄色い舌状花を付けることを同定のポイントとした。本調査では全く確認できなかった。

10. アメリカセンダングサ

Bidens frondosa L.

総苞片が長く突き出ている点をポイントとした。市街地から外れた場所で確認することができた。

(分布図は図11)

11. タウコギ

Bidens tripartita L.

細長い総苞片を持つ。総苞及び葉の形状を同定のポイントとした。本調査では確認できなかった。

12. コセンダングサ

Bidens pilosa L. var. *pilosa*

本種は管状花のみで舌状花を付けない。白い舌状花を付けるコシロノセンダングサ [*Bidens pilosa* L. var. *minor* (Blume) Sherff] があり、本調査では、コセンダングサとコシロノセンダングサを混同している部分があり、十分な結果が得られていない。したがって、本調査の分布状況ということでは載せていないが、コセンダングサ、コシロノセンダングサともに非常によく確認ができ、次年度以降に再度、確認調査が必要であると感じた。

13. キクアザミ

Saussurea ussuriensis Maxim.

総苞が鱗状であることを同定のポイントとした。本調査では確認できなかった。

14. タイアザミ (トネアザミ)

Cirsium nipponicum (Maxix.) Makino var. *incomptum* (Fr. et Sav.) Kitam.

県内では普通に見られるアザミ。総苞片がトゲ立ち、太くて長いのが特徴。高麗山から湘南平に向かう尾根や高麗山に向かう道沿いの日陰になった場所で見かけた。(分布図は図 12)

15. タムラソウ

Serratula coronata L. subsp. *insularis* (Iljin) Kitam.

花の形状がアザミ類に似ているが、柱頭が2つに分かれそりかえっている点で区別できる。本調査では確認できなかった。

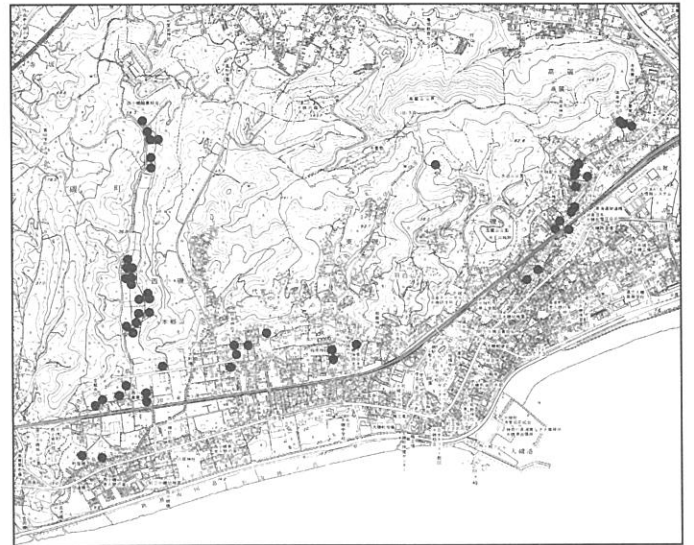


図 7. ヒガンバナの分布

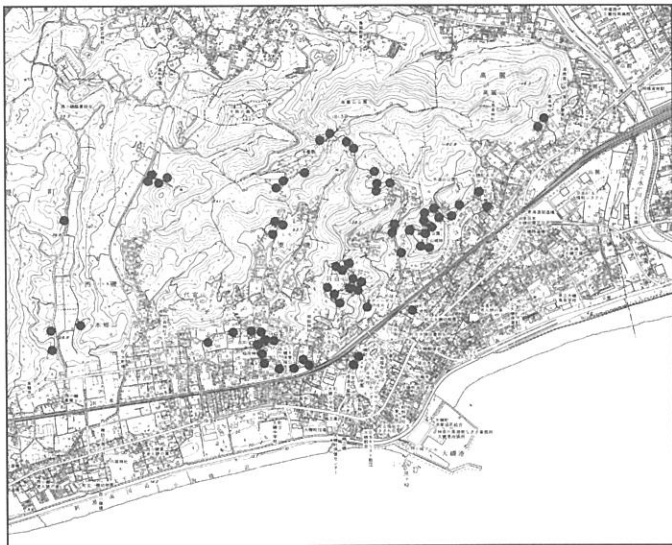


図 5. ミズヒキの分布

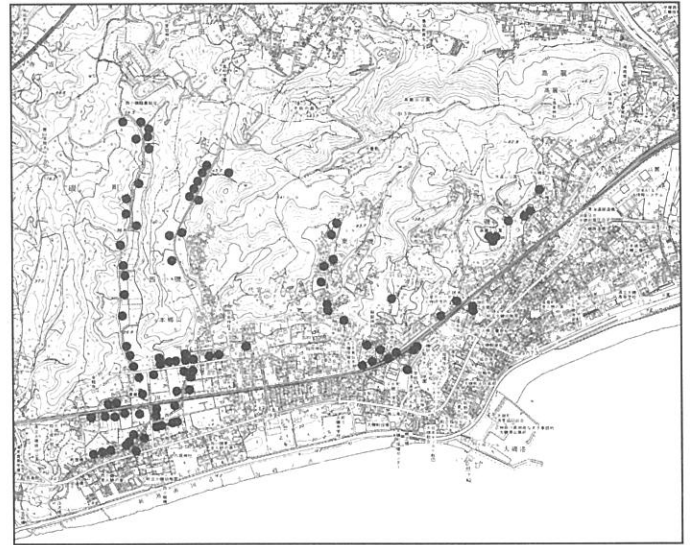


図 8. セイトカアワダチソウの分布

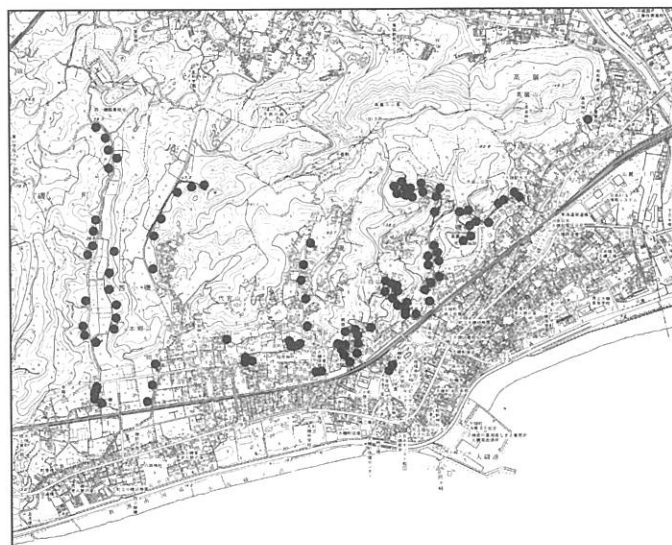


図 6. カラスウリの分布



図 9. アケビの分布

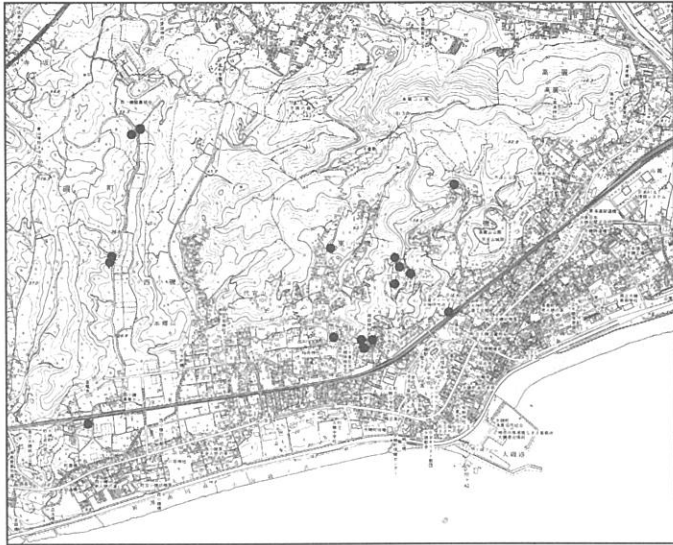


図 10. ミツバアケビの分布



図 11. アメリカセンダングサの分布

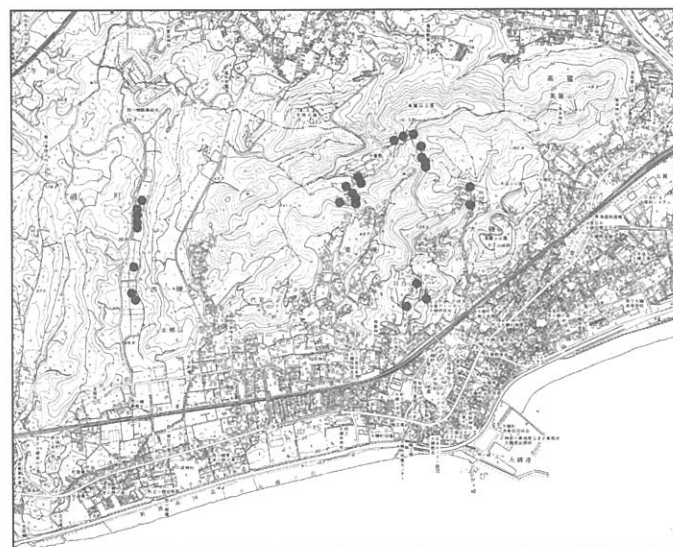


図 12. タイアザミの分布

(2) 1990 年度 大磯町・二宮町の身近な生き物調査との比較

本調査と 1990 年度 大磯町・二宮町の身近な生き物調査とは、調査方法、結果のまとめ方が異なっており、単純な比較とはいかないが、多くの点で同じような結果が得られた。しかしながら、種によってはいくつかの違いが見られた。セイタカアワダチソウについて 1990 年度調査では、高麗山の頂上付近でも比較的良好に確認できたが、本調査では、全く確認できなかった。また、ミズヒキについては、市街地といえるような場所でも日陰になっている場所でも確認できた。

(3) 近縁種間の分布比較

i) ミツバアケビとアケビ、ii) カラスウリとキカラスウリ、iii) アメリカセンダングサ、センダングサ、タウコギ、コセンダングサ、iv) タイアザミ、キクアザミ、タムラソウについて種間に分布の違いを比較した。i) アケビとミツバアケビについては、ほぼ同じような場所で確認ができた。ii) カラスウリとキカラスウリについては、キカラスウリが確認された場所が 1 か所であり、比較できる結果が得られなかった。iii) センダングサ類については、アメリカセンダングサ以外の種類について、十分な結果得られておらず、比較できる段階までいかなかった。アザミの類については、タイアザミ以外の種類については十分な結果が得られておらず比較の段階までいっていない。

4. 今後の企画について考えること

この度の企画では、参加者 10 名で、日程的には 9 月から 11 月までの間の月 1 回ペースの調査ということもあり、正直十分といえるような結果は得られなかった。今後、「草と木の調査」を進めるうえで、開花時に植物同定が比較的容易にできることから、開花時の一定期間連続して調査を行うことが望ましいと思えた。また、調査を行う範囲についても狭い範囲では、はっきりとした分布の比較ができず、町内全域での調査は、必須であるように感じた。以上のような問題点は感じられたが、本企画を通して、繰り返し同じ種の植物を見ることで参加者が一様に同定に必要な観察力を身につけられたこと、自分が生活する環境を見つめ直す機会となったなど成果が得られたのではないかと考えている。

5. 参加者の声

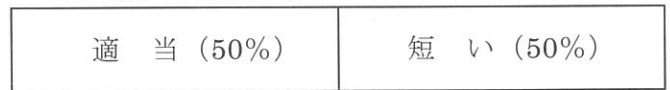
草と木の調査終了時に、アンケート調査を実施した。企画担当の私を除く9人全員の方より回答が得られた。アンケート調査の設問及び集計については次のとおりである。

<設問>

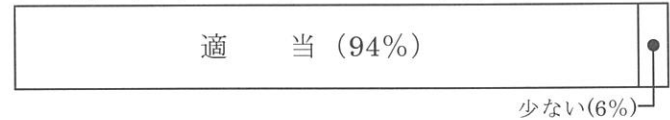
1. 調査の期間、ペースについてお聞きします。
 - 1-1. 8月から12月の5ヶ月間でしたが、期間についてどう思われますか。
 1. 長い 2. 適当 3. 短い
 - 1-2. 月1回のペースについてどう思われますか。
 1. 多い 2. 適当 3. 少ない
2. 1回あたりの調査についてお聞きします。
 - 2-1. 毎回、9時から12時の3時間でしたが、時間についてどう思われますか。
 1. 長い 2. 適当 3. 短い
 - 2-2. 歩く距離についてどう思われますか。
 1. 長い 2. 適当 3. 短い
3. 調査の方法についてお聞きします。
 - 3-1. 調査表（地図）の大きさについてどう思われますか。
 1. 大きい 2. 適当 3. 小さい
 - 3-2. 一班3名でコースを回りましたが、人数的にはどう思われますか。
 1. 多い 2. 適当 3. 少ない
 - 3-3. 15種類の植物について調査を行いました、種類数についてはどう思われますか。
 1. 多い 2. 適当 3. 少ない
4. この度の郷土資料館講座について感想をお願いします。

<アンケート調査の集計>

1-1 8月～12月の5ヶ月でしたが、期間についてどう思われますか。



1-2 月1回のペースについてどう思われますか。



2-1 毎回、9時から12時の3時間でしたが、時間についてどう思われますか。



2-2 歩く距離についてどう思われますか。



3-1 調査表（地図）の大きさについてどう思われますか。



3-2 一班3名でコースを回りましたが、人数的にはどう思われますか。



3-3 15種類の植物について調査を行いました、人数的にはどう思われますか。



4 この度の郷土資料館講座についてのご感想をお願いします。

・季節（春・秋）の区分でよいと思いますが、月の移り変わりによって、植物の変化があるのももう少し詳細に調べられたらと思いました。(49歳・女性)

・郷土資料館主催の講座に参加するのは2回目ですが、テーマに深みがあったためにもなり、楽しくもありで参加できて良かったと思います。(42歳・女性)

・いろいろな点で素人の調査には妥当な計画だったと思います。配布地図など行き届いた準備があつて楽しく歩くことができました。

下記の点についてたいへん興味を持ちました。

1) 夏から秋、晩秋への植物の変化、推移を観察できたこと

2) センダングサの類が人間の生活領域に入りにしたがって、にわかに数が増える状況を観察できたこと(69歳・男性)

・調査種類が15(実質12)というところがとてもよかったです。多すぎでは対象をきちんと理解できず探り出すことができにくいと思いますので。期間ですが、できれば年間を通して実施した方が新芽の頃の様子なども観察できてよかったですのではと考えます。とても楽しい5ヶ月でした。(59歳・女性)

・ここ数年、当町の自然が失われていくのを感じてはいましたが、今回の講座を通じて、それは想像以上のものであることを実感しました。今後、調査は3年ごとぐらいに行う必要があるのではないかと考えています。(65歳・男性)

・よい講座だったとは思いますが、小学生高学年や中学生の夏休み等にこのような調査経験をさせたら将来的にも貴重な学習になるのではと思いました。また、このような講座がありましたら参加したいと思っております。(61歳・女性)

・様々な年代の方と郷土「大磯」を巡って植物について調査する有意義な時間がもてました。

<調査に関して>

センダングサの類が非常に細かく分かれすぎていて判断に困った。いわゆる“くつつき草”としてひとくくりにするのはやはり調査上不都合なのかもしれませんが。

例えばまず、春夏秋冬の季節始めに調査団がよく目に付く花を調べ、それをリストアップして調査するというのはいかがでしょう。(30歳・女性)

・調査方法について、群落の大小の表現を変えたらどうかと思った。

5年に一度では町の変化の方が大きすぎて追いついていけない。以前、友達と春になると、つくし(つみ草)取りに行っていた所が年々なくなっている。今ではほとんど変わっており残念に思う。(58歳・女性)

<参考にした文献>

- ・神奈川県植物誌調査会(1988):神奈川県植物誌. 神奈川県立博物館
- ・守矢淳一(1996):大磯町史9 別編 自然(植物). 大磯町.
- ・大磯町郷土資料館(1991):1990年度 大磯町・二宮町の身近な生き物調査 報告書. 大磯町郷土資料館
- ・北村四郎・村田源・堀勝(1986):原色日本植物図鑑・草本編I. 保育社.
- ・北村四郎・村田源(1987):原色日本植物図鑑・草本編II. 保育社.
- ・北村四郎・村田源・小山鐵夫(1986):原色日本植物図鑑・草本編III. 保育社.
- ・北村四郎・村田源(1987):原色日本植物図鑑・木本編II. 保育社.
- ・佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(1989):日本野生植物 草本I 単子葉類. 平凡社.
- ・佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(1989):日本野生植物 草本II 離弁花類. 平凡社.
- ・佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫(1989):日本野生植物 草本III 合弁花類. 平凡社.
- ・長田武正(1984):検索入門 野草図鑑① つる植物の巻. 保育社.
- ・長田武正(1984):検索入門 野草図鑑② ゆりの巻. 保育社.
- ・長田武正(1984):検索入門 野草図鑑④ たんぽぽの巻. 保育社.
- ・長田武正(1984):検索入門 野草図鑑⑥ おきなぐさの巻. 保育社.
- ・長田武正(1984):検索入門 野草図鑑⑧ はこべの巻. 保育社.

(当館学芸員)

年 報

—平成 11 年度—

◇平成 13 年 3 月 31 日発行

◇編集発行

大磯町郷土資料館

神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

T E L 0463-61-4700

◇印刷

神奈川印刷株式会社